Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-19 シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows Vista の初期設定を用いて説明しています。
- Windows Update について
  Windows セキュリティセンターで [自動更新] を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。
  ① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
  ② (スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックする。
  ③ 画面の指示に従って更新プログラムをインストールする。
  - デバイスドライバーの更新プログラムは適用しないでください。お使いのパソコンと互換性がない場合があります。詳しくは、弊社の Web ページ（http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html）をご覧ください。
  - 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラムの更新後に再度 Windows Update を実行してください。
- 「スパイウェア対策ソフトウェアを確認してください」というメッセージが表示されたら
  画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウント制御 は、パソコンの不正操作を防ぐ目的で新たに Windows Vista に採用されたセキュリティ機能です。パソコンで重要な操作を実行しようとすると、その都度ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

音声と動画

- PC カードや SD メモリーカードに音声（MP3、WMA 等）や動画（MPG、WMV 等）を記録して再生すると、その途中で途切れることがあります。このような場合には、音声や動画をハードディスクドライブへコピーしたうえで再生してください。
- AVI ファイルに保存された音声や動画を再生すると、その途中で途切れたり再生が遅れたりすることがあります。このような場合には、画面右下のタスクトレイの または をクリックし、[高パフォーマンス] をクリックしてください。これで問題が解消されることがあります。
- Windows の使用状況によっては、Windows の起動時に音声が途切れることがあります。起動時に音声が出ないように設定するには、次の手順を実行してください。
  ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。
  ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。
- パソコン使用中にキーンという音が聞こえる
  これを改善するには、USB の省電力機能の設定を変更してください。
  • 次の手順で、[USB の選択的な中断の設定] を [有効] に設定してください。
  ① （スタート）- [コントロール パネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックする。
  ② 現在の電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
  ③ [次のプランの設定の変更] の [詳細な電源設定の変更] をクリックする。
  ④ [詳細設定] の [USB 設定] をダブルクリックする。
  ⑤ [USB の選択的な中断の設定] をダブルクリックする。
  ⑥ [バッテリ駆動] の設定を変更し、[電源に接続] を [有効] に設定する。
  ⑦ [OK] をクリックし、[詳細設定] の画面を閉じる。

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウス、タッチパネル、タブレットボタンなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、操作は行わないでください。ハードディスク状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップアイコンが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります。

キー	機能	ポップアップアイコン
Fn+F1*1 Fn+F2*1	**内部 LCD の輝度調整** （Fn+F1= 下げる／ Fn+F2= 上げる）	
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え**（➔51 ページ） （外部ディスプレイ接続時） 内部 LCD ➔ 同時表示 ➔ 外部ディスプレイ お願い ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 ・外部ディスプレイが接続されていないとき ・DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき ・拡張デスクトップモードを使用しているとき お知らせ ● Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。Fn+F3を押すと、外部ディスプレイまたは内部 LCDに切り替わります。	—

キー	機能	ポップアップアイコン
Fn+F4 *2	音声出力のオン／オフ お知らせ ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。*3	オフ（ミュート） オン
Fn+F5 *2 Fn+F6 *2	音量調整 （Fn+F5= 下げる／ Fn+F6= 上げる） お知らせ ● 音量を微調整するときは、 Fnを押したままF5またはF6を断続的に押してください。	
Fn+F7	スリープ状態に入る（➔16 ページ）	—
Fn+F8	Concealed Mode のオン／オフ LCD バックライト、LED、サウンド *3、無線電波のオン／オフを選択することができます。 お知らせ ● セットアップユーティリティの「Concealed Mode」を「有効」に設定しておく必要があります。（➔99ページ） ● セットアップユーティリティの「Concealed Mode」で、どのデバイスをオフにするかを選択できます。（➔99ページ） ● Fn＋F8を連打すると、Concealed Modeの切り替えができないことがあります。オン／ オフを切り替える際は、4秒以上間隔を空けてください。	—
Fn+F9	バッテリー残量確認	（➔25 ページ ）
Fn+F10	休止状態に入る（➔16 ページ）	—

*1 「Concealed Mode 設定」で「LCD バックライト」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。

*2 「Concealed Mode 設定」で「サウンド」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。

*3 「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定しても、画面右下のタスクトレイ の や、[SoundMAX] の [再生デバイス] の表示はミュート状態にはなりません。ただし、スピーカーから音は出ません。

Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで、 **Fn** が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップアイコンの表示／非表示**

1 Hotkey設定プログラムを起動する。

（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey 設定]をクリックする。

2 各項目を設定する。

[Fnキーをロックする]

- **Fn** を 1 回だけ押す場合

① **Fn**を1回押す。（ロック状態）

② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）

- **Fn** を連続して使う場合

① **Fn**を2回押す。（ロック状態）

② 組み合わせる他のキーを押す。（再度**Fn**を押すまでロック状態のままです。）

[通知方法]

[Fnキーが押されたときに音を鳴らす][*4]

[Fnキーの状態を画面に表示する]：**Fn**の状態を画面右下のタスクトレイに表示します。

- ：**Fn** ロック状態
- ：**Fn** ロック解除

[ポップアップを表示しない]

ポップアップアイコンが表示されなくなります。

3 [OK]をクリックする。

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

[*4] スピーカーがミュート状態になっていたり、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定したりしている場合は、ビープ音は鳴りません。

タブレットボタン

ボタン	機能
▼ ☼ ▲	**LCD の輝度調整** ▼：下げる／▲：上げる
	入力パネル Tablet PC 入力パネルの起動／終了 ● ようこそ画面では使えません。
	Enter **Enter** と同じ働きをします。
	回転 画面が回転します。(➔13 ページ) ● 画面の回転が完全に終わるまで、再度回転ボタンを押さないでください。
	セキュリティ **Ctrl** + **Alt** + **Del** と同じ働きをします。

お知らせ

- タブレットボタンは、Windows の画面が表示されているときに働きます。
- Windowsが起動した直後や、Windowsのログオン画面（またはようこそ画面）が表示された直後は、タブレットボタンが働かない場合があります。

タブレットボタンの設定

お知らせ

- タブレットボタンは、ユーザーごとに設定できます。
- Windowsのログオン画面またはようこそ画面では、タブレットボタンは初期設定で動作します。

■ 設定を変更する

入力パネルボタン、Enter ボタン、および回転ボタンの機能を変更することができます。

1 **設定画面を開く。**
(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タスクの実行用のタブレット ボタンの設定]をクリックする。

2 **変更したいボタンを選んで[変更]をクリックする。**

3 **[押す]と[プレス アンド ホールド]から機能を選択する。**
- [キーまたはキーの組み合わせを押す]を選んだ場合、 Fnを割り当てることはできません。
- [プログラムを起動する]を選んだ場合は、[参照]をクリックして起動したいアプリケーションを選んでください。

4 **[OK]をクリックする。**

5 **[OK]をクリックする。**

タッチパネル

タッチパネル機能を使って、フラットパッドやマウスと同様の操作ができます。付属のスタイラスペンで画面の表面に触れてください。
詳しくは(スタート) - [すべてのプログラム] - [Tablet PC] - [Tablet PC タッチ トレーニング]をクリックしてください。

- **右クリックするには**

  ① スタイラスペンで右クリックの対象を指し続けるか、または右クリックの対象を指しながら「タッチ ポインタ」の右ボタンを選択する。

お知らせ

- タッチパネル機能はセットアップユーティリティでは使えません。

タッチパネルの操作

■ 指または付属のスタイラスペンでタッチパネルを操作する

タッチパネル機能を使うときは、必ず指または付属のスタイラスペンで表面に触れながら操作してください。
指やスタイラスペン以外の物（指の爪や金属、硬くて先のとがった物）でタッチパネルを操作すると、表面に傷跡や汚れがついて誤動作の原因になることがあります。

■ 大きな力をかけずに操作する

タッチパネルは軽く触れるだけで操作できます。大きな力をかけると表面を傷つけることがあります。

タッチパネルのお手入れ

■ 汚れは付属の専用布でふき取る

タッチパネルには専用の処理が施されていますので、汚れは専用布で簡単にふき取ることができます（必ず付属の専用布を使用してください)。簡単に汚れが落ちなければ、表面に息を吹きかけてからふき取ってください。
専用布に水や溶剤を染み込ませてふき取らないでください。

■ パソコンの電源を切ってから清掃する

電源を入れて画面を清掃すると、パソコンが誤動作を起こす原因になります。また、タッチパネルの汚れは電源が切れているときの方が目立つため、清掃がしやすくなります。

■ 専用布の汚れを洗い落とす

専用布の汚れは刺激の少ない洗剤で洗濯してください。漂白剤や布地用柔軟剤（軟化剤）を使ったり、沸騰したお湯で布を殺菌したりしないでください。
汚れた専用布を使用すると、タッチパネルに汚れが付着する原因になります。

■ タッチパネル表面のひっかき傷を防ぐ

次の項目をチェックしてください。

- 指またはスタイラスペンでタッチパネルを操作しているか
- 表面に汚れがないか
- 専用布に汚れがないか
- スタイラスペンの先端が変形していないか
- スタイラスペンの先端に汚れがないか
- 指に汚れがないか

タッチパネル操作時の注意事項

■ 表示領域の外に触れない

タッチパネルの入力範囲はディスプレイ画面の表示内です。表示領域の外に触れると、タッチパネルの誤動作や損傷を招く原因になります。

■ タッチパネルに必要以上の力をかけない

内部 LCD をつかんでパソコンを持ち上げたり画面をねじったりしないください。また、内部 LCD に物を載せないでください。このような取り扱いをすると、タッチパネルのガラス面や内部 LCD が破損することがあります。

■ 気温の低下に伴って操作時の応答速度が低下する

パソコンを気温 5 ℃ 未満の環境下で使用すると、タッチパネルの応答速度が低下することがありますが、これは誤動作ではありません。パソコンが室温まで温まると応答速度は正常な状態に戻ります。

■ 画面で触れた位置とは異なる位置へカーソルがジャンプしたときや、内部 LCD の解像度が変更されたときは

「タッチパネルの補正（キャリブレーション）」（➔11 ページ）を実行してください。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

標準ユーザーが各自の補正を実行する前に、管理者権限で補正を実行しておくことが必要です。

■ 管理者権限での補正

お知らせ

- まず管理者権限で Windows にログオンしてから、この補正を実行してください。
- この補正は、画面を[横(プライマリ)]に戻してから実行してください。

1 **補正ツールを起動する。**
(スタート) - [コントロールパネル] - [その他のオプション] - [タブレットの補正]をクリックする。

2 **画面上の 9 か所に“+”マークが表示されるので、スタイラスペンで順に触れる。**

■ ユーザーごとの補正

お知らせ

- ユーザーごとに次の補正（キャリブレーション）を実行してください。

1 **補正ツールを起動する。**
(スタート) - [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [Tablet PC 設定]をクリックする。

2 **[調整]をクリックする。**

3 **画面上の 4 か所に“+”マークが表示されるので、スタイラスペンで順に触れてから、[OK]をクリックする。**
- 使用する画面の向きを対象に補正（キャリブレーション）を実行してください。

フラットパッドやタッチパネルに、サインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「Panasonic手書き」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- 市販のポインティングデバイス（マウスなど）のドライバーをインストールして、フラットパッドのドライバーを上書きすると、「Panasonic手書き」は動作しません。

お知らせ

- ディスプレイの色数を変更すると、「Panasonic手書き」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下のタスクトレイのを右クリックして[Panasonic手書きの終了]をクリックした後、再度「Panasonic手書き」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「Panasonic手書き」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

「Panasonic手書き」を起動する

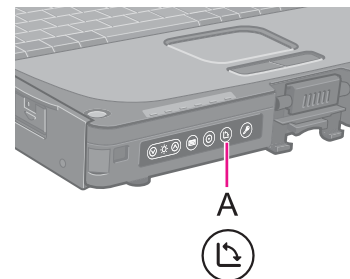
1　画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。
または、(スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Panasonic手書き]をクリックする。

お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に[オプション] - [画面サイズの設定]で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー]をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。
- 拡張デスクトップモードを使用しているときは、フラットパッドモードが正しく働かないことがあります。
- 画面を90°または270°に回転させているときは、フラットパッドモードが正しく働かないことがあります。
- 次の場合はフラットパッドモードが終了します。
  - 他のアプリケーションソフトに切り替えたとき
  - スリープまたは休止状態からリジュームしたとき
  - **Alt**を押したとき
  - タッチパネルに触れたとき

画面を回転させる

1 **回転ボタン⊡（A）を押す。**

ボタンを押すたびに、反時計回りに90° 回転します。

お知らせ

- 以下の方法でも、画面を回転させることができます。
  (スタート) - [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [画面の向きの変更]をクリックする。
- 画面を回転させているとき:
  - 拡張デスクトップモードを使わないでください。フラットパッド、タッチパネルが正しく動作しないことがあります。
  - 管理者権限での補正（➔11ページ）を実行しないでください。ただし、ユーザーごとの補正（➔11ページ）は実行できます。
  - 画面の解像度を内部 LCD の解像度より高く設定しないでください。
  - パソコンの性能が少し落ちます。
  - フラットパッドのスクロール、ズーム、データズーム機能は働きません。
- 動画の再生中に画面を回転させると、画面が正しく表示されなかったり、音声が途切れたりすることがあります。画面を[横(プライマリ)]に戻すと正しく再生されます。
- Windows を起動してログオン直後に画面を回転させると、しばらくして画面が回転前の状態に戻ることがありますが、その後再び回転状態に戻ります。ユーザーの切り替えを行ったときや、スリープ・休止状態からリジュームしたとき、Windowsのアンロック時にも、同様の現象が起こります。

設定を変更する

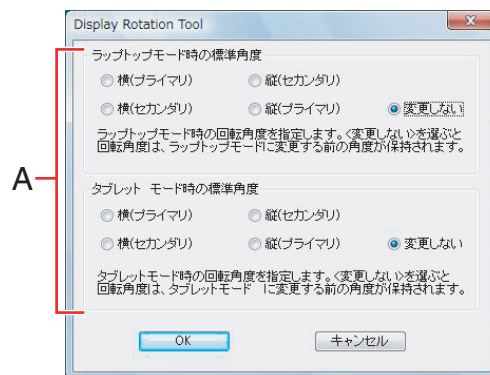
1　画面右下のタスクトレイの　を右クリックして、[画面回転の設定]をクリックする。

「Display Rotation Tool」画面が表示されます。

2　設定を変更する。

A : 次の場合に、画面は自動的に標準角度になります。

- ラップトップモードからタブレットモードに、またはその逆に切り替えたとき
- Windows を起動したとき
- ユーザーの簡易切り替え機能で別のユーザーがログオンしたとき
- スリープ・休止状態からリジュームしたとき
- Windows のアンロック時

3　[OK]をクリックする。

お知らせ

- 次の手順で、画面の向きが変更される順序を設定することができます。
 (スタート) - [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [画面の向きの変更] - [変更]をクリックする。

パソコンをすばやく起動するとき

「スリープ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スリープまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スリープ	メモリー	短い	必要（スリープ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要（ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

使用上のお願い

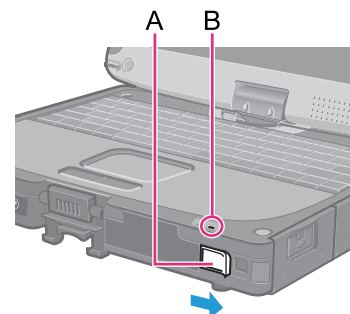
- 長時間スリープ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スリープ状態ではなく休止状態にしてください。
- スリープまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スリープまたは休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- 休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。画面が暗くなりますが、いずれのキーにも触れないでください。
- リジューム（➔17 ページ）の際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スリープまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。
- 下記の場合は、スリープ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スリープ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - ハードディスク状態表示ランプ またはSD メモリーカード状態表示ランプ SD の点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - DVD-Video の再生中
  - ディスクへの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
  - 周辺機器の使用中
    （周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）

スリープ・休止状態に入る／リジュームする

■ スリープ・休止状態に入る

1 ディスプレイを閉じるか、ビープ音[*1]が鳴るまで電源スイッチ（A）をスライドする。

電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
スリープ：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
休止状態：電源状態表示ランプが消える。

- Windows のメニューを使ってスリープ・休止状態に入ることもできます。
  (スタート) - - [スリープ] / [休止状態]をクリックする。

お願い

スリープ・休止状態処理中

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - 無線切り替えスイッチの入／切
  - ディスプレイの開閉
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スリープ）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スリープ・休止状態に入るまでに 1〜2 分かかる場合があります。
- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。手を離してから、電源状態表示ランプが点滅または消灯するまで電源スイッチを操作しないでください。電源スイッチを4秒以上スライドすると、パソコンが強制終了し、[電源ボタンを押したときの動作]を[電源ボタンの動作の変更]のいずれかの項目に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。

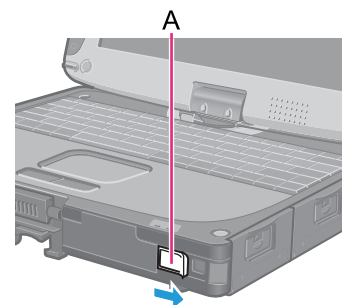
スリープ・休止状態のとき

- 周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スリープ状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スリープ機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を行わないでください。

[*1] スピーカーがミュート状態になっていたり、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定したりしている場合は、ビープ音は鳴りません。

■ スリープまたは休止状態からリジュームする

1 **ディスプレイを開けるか、または電源スイッチ（A）をスライドする。**

- 初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約15秒（通常）または1分（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スリープまたは休止状態に入る（約 1 分間お待ちください）
  - 無線切り替えスイッチの入／切
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し
- USB キーボードやマウスを接続した状態で、パソコンがスリープ状態に入ったとき、USB キーボードのキーまたはマウスに触れると、パソコンはリジュームを実行します。

お知らせ

- <Bluetooth 内蔵モデルのみ>
  スリープ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了]をクリックしてください。
  Bluetooth接続が切れたときは、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックしてから、改めて接続し直してください。

スリープ・休止状態の設定

■ スリープ状態

1. **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**
2. **変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。**
3. **[コンピュータをスリープ状態にする]の設定内容を変更し、[変更の保存]をクリックする。**
   - スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
     休止状態に移行する時間を確認してください（下記）。工場出荷時の設定（1080 分）よりも短く設定しないようにしてください。

■ 休止状態

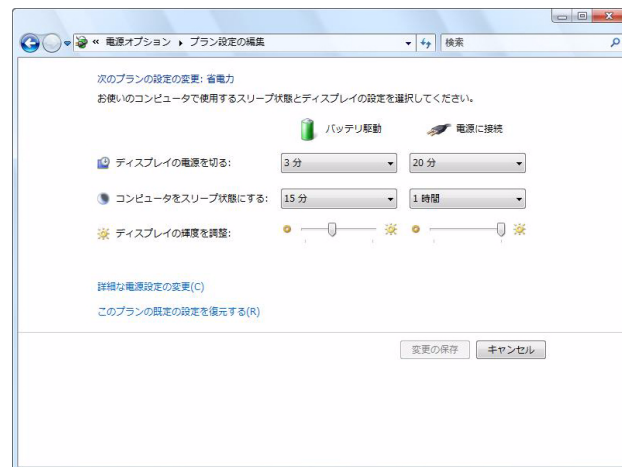
1. **「スリープ状態」の手順2（上記）を実行してから、[詳細な電源設定の変更]をクリックする。**
2. **[スリープ] - [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。**
3. **項目を選択して設定内容を変更する。**
4. **[OK]をクリックする。**

消費電力を節約する

以下の設定を行うと省電力の効果があり、バッテリーで使用する場合はより長時間使えるようになります。

無駄な電力を使わない

電源の設定を変更したり、画面の明るさを調整したりして、消費電力を節約することができます。

- **[電源オプション]を変更する**
  (スタート) - [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックして[省電力]を選択します。
  工場出荷時は[パナソニックの電源管理]に設定されていますが、[省電力]に変更することでさらに消費電力が節約できます。
  さらに、[ディスプレイの電源を切る]で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。
- **省電力設定ユーティリティを使う**➔20ページ
  上記の[電源オプション]ではできない、いろいろな省電力機能を利用することができます。
- **Fn + F1 で内部 LCD の明るさを暗くする**
  内部 LCD の明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
- **使わないときはパソコンの電源を切る**
  無線 LAN(➔65 ページ)、Bluetooth(➔72 ページ)またはワイヤレス WAN の電源を個別に切ることもできます。
- **使わない周辺機器(USB 機器、PC カード、外部マウスなど)は取り外す**
- **スリープ・休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間離れるときは、 Fn + F7でスリープ状態、またはFn + F10で休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力を抑えることができます。
  また、有線 LAN Wake Up 機能/無線 LAN Wake Up 機能を使わない場合は、無効に設定してください。スリープ・休止状態での消費電力を抑えることができます。
  現在の設定は、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] - [詳細]をクリックし、[スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能]または[スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能]をご覧ください。

省電力設定ユーティリティを使う

次の省電力機能を一度にまとめて設定することができます。バッテリー駆動時間を長くしたい場合は有効に設定してください。

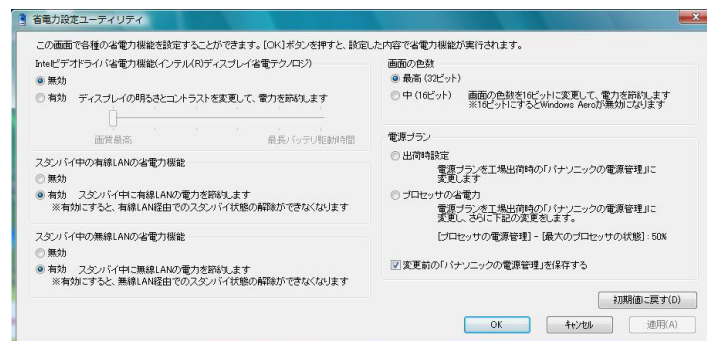
- **Intel ビデオドライバ省電力機能（インテル(R)ディスプレイ省電テクノロジ）**
  画像のコントラストや色などを調整することにより、画質をある程度保った状態で内部 LCD の消費電力を抑えます。
  画像や色の微妙な表現力が必要な場合や画像編集用アプリケーションソフトで画像編集を行う場合は、無効に設定することをお勧めします。
- **スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能**
  [有効]の場合、有線 LAN Wake Up 機能を無効にして、スリープ・休止状態での消費電力を抑えます。
  有線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効]に設定する必要があります。
- **スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能**
  [有効]の場合、無線 LAN Wake Up 機能を無効にして、スリープ・休止状態での消費電力を抑えます。
  無線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効]に設定する必要があります。
- **画面の色数**
  [画面の設定]で[色]を[中(16ビット)]に設定します。
- **電源プラン**
  電源プランを[パナソニックの電源管理]（初期設定）に設定するとともに、以下のように設定内容を変更します。
  [プロセッサの電源管理]で[最大のプロセッサの状態]を[100 %]から[50 %]へ変更します。

■ 設定方法

省電力設定ユーティリティの有効／無効は、次の手順で切り替えてください。

1 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] - [詳細]をクリックする。**

2 **設定したい各機能の[有効]をクリックする。**
確認画面が表示されたら、内容を確認して[OK]をクリックしてください。
- [Intel ビデオドライバ省電力機能] を有効にするには [有効] をクリックし、スライドバーを [最長バッテリ駆動時間] 側に設定してください。

3 **[OK]をクリックする。**
[初期値に戻す]をクリックして[OK]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

お知らせ

- 省電力設定ユーティリティで設定できる各項目は、次の方法でも個別に設定することができます。
  - [Intelビデオドライバ省電力機能]を有効にする
    ① デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。
    - [Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面が表示されます。

    ② [ノートブック] - [適用]をクリックして、[OK]をクリックする。
    ③ [ディスプレイ設定]をクリックする。
    ④ [電源設定]をクリックする。
    ⑤ [設定の変更]をクリックする。
    ⑥ [インテル(R)ディスプレイ省電テクノロジ]をクリックして、チェックマークを付ける。
    ⑦ スライドバーを[最長バッテリ駆動時間]側に設定し、[OK]をクリックする。
    ⑧ [OK]をクリックする。（再起動の必要はありません。）
  - 有線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする➔60ページ
  - 無線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする➔70ページ

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  - 内蔵セキュリティ（TPM）（➔103 ページ）：詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する（➔96ページ）。**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、 Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して **Enter** を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして **Enter** を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、 Enterを押す。**
6. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

お願い

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大32文字です。
  - 大文字、小文字は区別されません。
  - 数字の入力にテンキーは使用できません。
  - パスワードの入力に**Shift**と**Ctrl**は使用できません。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1 パスワードを設定し（➔22ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔103ページ）

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護はデータの完全な保護を保証するものではありません。）

1 セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔103ページ）

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください（➔22ページ）。
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%*1 になるまで放電しています（➔26 ページ）。この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。
緑色とオレンジ色が交互に点滅	低温時にハードディスクが誤動作するのを防ぐため、ハードディスクをウォームアップしています。ウォームアップ後、パソコンは自動的に起動します。
オレンジ色がゆっくりと点滅	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「充電中バッテリー状態表示」が「明滅」に設定されています。

*1 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時の80%と同等です。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電されません。
- 「Concealed Mode設定」で「LED」を「オフ」に設定しているときは、バッテリー状態表示ランプは点灯（または点滅）しません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

（Windows にログオンした後）

1 Fn + F9を押す。

- バッテリーパック装着時（例）

: 常温モード時（➔26ページ）

: 高温モード時（➔26ページ）

- バッテリーパック未装着時

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔28ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    （AC アダプターから電力の供給がないまま長時間スリープ状態にしていると、このような状態になる場合があります。）
- バッテリーの残量表示が画面右下のタスクトレイの表示と異なる場合があります。故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔98 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

バッテリー残量が 10% になったら 「バッテリー低下アラーム」	バッテリー残量が 5% になったら 「バッテリー切れアラーム」
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● パソコンは休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です。	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなくなったり、[バッテリー低下のレベル]/[バッテリー切れのレベル]機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1 **AC アダプターを接続する。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

3 **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ]をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10°C ～ 30°C の温度環境で実行してください。低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：最大約4.5時間
  - 完全放電にかかる時間：約4.5時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電や、誤ってACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。
  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間に**F9**を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら**Enter**を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スリープ状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

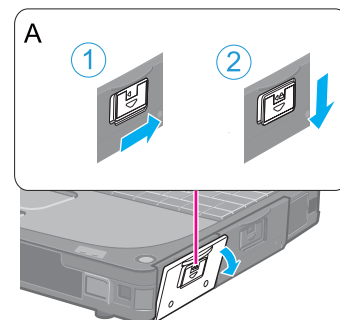
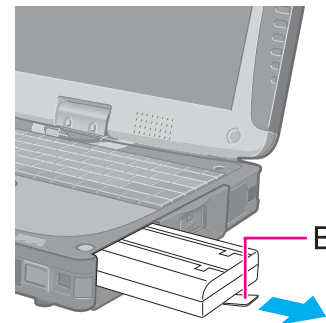
1 **パソコンの電源を切る。**

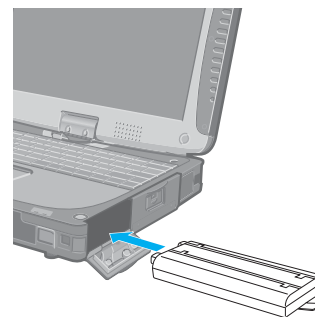
- スリープ機能は使わないでください。

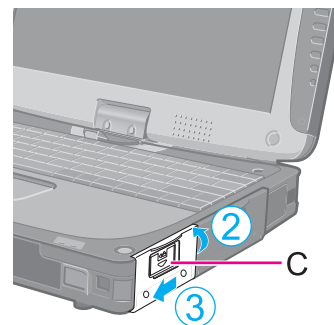
2 **バッテリーパックを取り外す／取り付ける。**

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

③ バッテリーパックのタブ（B）を引いてスロットから取り出す。

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じる。

③ ラッチ（C）を左側にスライドして、カバーをロックする。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2009 年 1 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、画面右下に PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

PC Information
Panasonic からのお知らせが 1 件あります

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**

バッテリーに関する情報の自動表示機能が有効になります。
以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

お知らせ

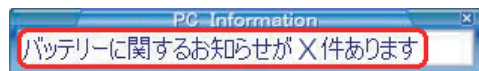
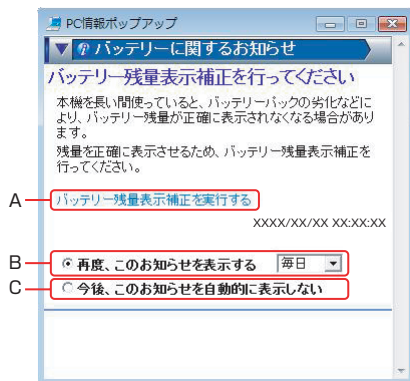
- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

バッテリーに関する情報を確認する

PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、画面右下に次の場合に [バッテリーに関するお知らせが X 件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が右下に表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**

2 **詳細を確認する。**

（画面は一例です）

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

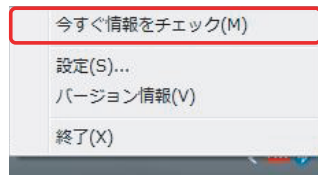
3 をクリックし、ウィンドウを閉じる。

お知らせ

- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況]をクリックする。
  ③ [満充電容量]の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をダブルクリックする。
  ④ [Portable Battery] をダブルクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
- セットアップユーティリティで「環境」の設定を変更した場合や、バッテリーパックがセットされていない状態でコンピューターを起動した場合などは、正しく表示されないことがあります。
  その場合はコンピューターを再起動した後、確認してください。
- バッテリー容量を計測し、記憶／学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする]にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合
  正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」という画面が表示された場合は、バッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、「バッテリーパックを交換する」（➔29ページ）をご覧ください。

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1 **画面右下のタスクトレイの 💬 または ❗ を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**

小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

2 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**

画面右下に表示されます。

3 **詳細を確認する。**

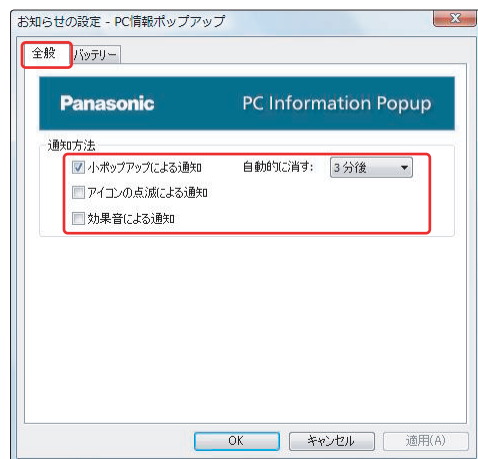
設定を変更する

各お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1 **画面右下のタスクトレイの 💬 または ❗ を右クリックし、[設定] をクリックする。**

2 **[全般]、[バッテリー] から、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。**

3 **設定が終わったら [OK] をクリックする。**

- [全般]
  すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下のタスクトレイの が に変わるだけになります。

- [小ポップアップによる通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
  チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
- [自動的に消す]
  小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
- [アイコンの点滅による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下のタスクトレイの PC 情報ポップアップアイコンが点滅します。
- [効果音による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

- [バッテリー]
  バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

- [バッテリーに関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、バッテリーに関する情報が表示されます。
  チェックマークを外すと、バッテリーに関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔37ページ）をご参照ください。
- [お知らせする情報]
  各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリーに関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
- [自動チェックする]
  チェックマークを付けると、定期的にバッテリーに関する情報があるか自動的にチェックします。
  チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
  [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。

お知らせ

- バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
  - バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、下記の「お知らせ」をご参照ください。
- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔31ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下のタスクトレイに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報がある場合（お知らせするタイミングでアイコンが変わります）。 または、小ポップアップ画面が表示されてから、一定時間が経過して小ポップアップ画面が消えた場合。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔34ページ）をご覧になり、[バッテリーに関する情報をお知らせする]にチェックマークを付けてください。

電源設定をカスタマイズする

電源プランを選定して、操作環境に最も適した電源設定を選択できます。ユーザー固有の電源プランを作成することもできます。

電源プランの設定を変更する

1. **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**
2. **変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。**
3. **設定を変更する。**
   - [詳細な電源設定の変更]：より詳細な設定をすることができます。
4. **[変更の保存]をクリックする。**

ユーザー固有の電源プランを作成する

1. **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**
2. **[電源プランの作成]をクリックし、プラン名の入力欄をクリックして、作成する電源プランの名前を入力する。**
3. **[次へ] をクリックする。**
4. **各項目を設定し、[作成]をクリックする。**
   - 設定内容の変更、またはより詳細な設定をするには（上記の「電源プランの設定を変更する」）

電源プランを削除する

1. **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**
2. **削除する電源プランとは異なる電源プランをクリックする。**
3. **削除したい電源プランの下に表示された[プラン設定の変更]をクリックする。**
4. **[このプランを削除]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックする。**

次のカードを挿入することができます。

- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54
  （エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ）
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカードスロット内蔵モデルの場合（➔45 ページ）

A
B

お知らせ

- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZV カード、SRAM カード、FLASH ROM カード（ATA インターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧 12V を必要とするカード
- ストレージタイプのCardBus PC カードを取り付けた状態で Windows を起動しないでください。エラーの原因になります。
- 工場出荷時には、両スロットにダミーカードが取り付けられています。ご使用前に、ダミーカードを取り出してください。（➔40ページ 「カードを取り出す」の手順2）
- スロットを使わないときには、スロットにダミーカードを取り付けてください。
- PCカードのダミーカードはPC カードスロットに、エクスプレスカードのダミーカードはエクスプレスカードスロットに取り付けてください。ダミーカードを間違って取り付けると、故障の原因になることがあります。

カードの取り付け／取り出し

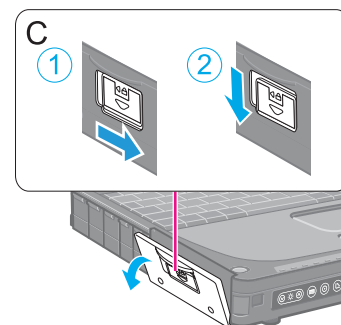
■ カードを取り付ける

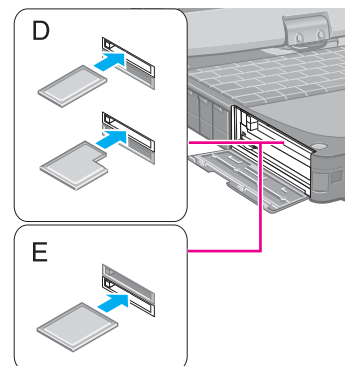
準備

カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。

1 **カバーを開ける。**

① ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

2 **カードのラベル面を上にして、エクスプレスカード（上スロット）（D）または PC カード（下スロット）（E）を、スロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

<Smart Card スロット内蔵モデルのみ>

- 上スロット（D）は PC カード対応のスロット、下スロット（E）はスマートカード対応のスロットです。エクスプレスカードは使用できません。
  スマートカードを取り付ける／取り出すには：➔45ページ

■ カードを取り出す

1 **カードの停止処理を行う。**

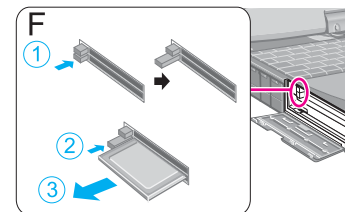
① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カバーを開けて（➔39ページ手順1）、カードを取り出す。**

① 取り出しボタン（F）を押す。取り出しボタンが飛び出します。

② 再度取り出しボタン（F）を押すと、スロットからカードが少し出てきます。

③ カードをまっすぐ引き抜く。

お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA

- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。
- カード挿入時は、消費電力が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー電力で操作しているときは、カードを取り外しておいてください。
- PC カードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSI、IEEE1394など）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

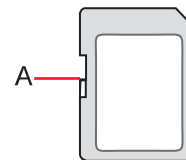
SDメモリーカードについて

- 本機のメモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- miniSD メモリーカードおよび microSD メモリーカードを使う場合は、必ず専用のアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応しています (セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/global/cs/sd/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

取り扱いおよび保管上のお願い

- パソコンから SD メモリーカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼ったりする
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

データの取り扱い上のご注意

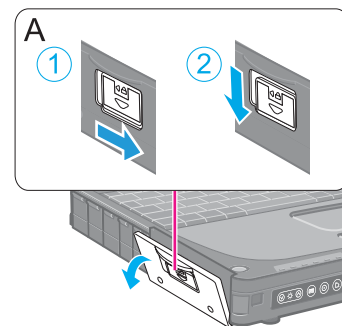
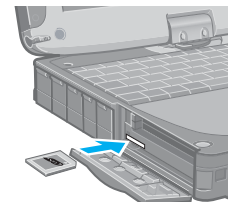
- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。

SDメモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スリープまたは休止状態のとき
  - SD メモリーカード状態表示ランプ SD が点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなったりするおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スリープ・休止状態からリジュームした後、約 30 秒間は SD メモリーカードにアクセスしないでください。

■ カードを取り付ける

1 **カバーを開ける。**

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

2 **カードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。**

■ カードを取り出す

準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- カバーを開けて、SD メモリーカード状態表示ランプ（B）が消えていることを確認してください。

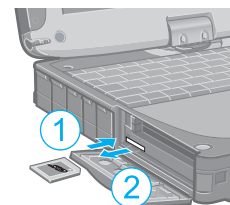
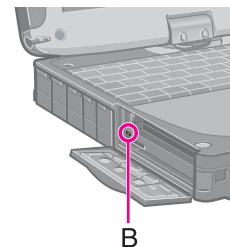
1 **カードの停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カードを取り出す。**

① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

< スマートカードスロット内蔵モデルのみ >
スマートカードを使用するには、アプリケーションソフトが必要です。

次のカードを使用することができます。

- PC カードスロット（A）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカードスロット（B）：スマートカード

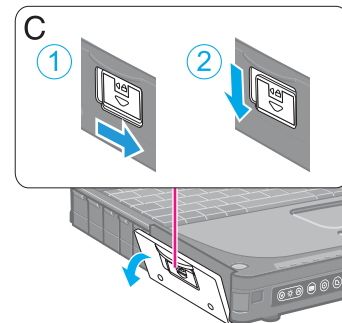
お願い

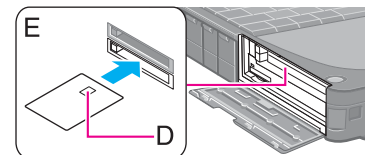
- スマートカードの取り扱いの際は、次のことを行わないでください。
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 指や金属で接触部に触れる
  - 温度の高いところに長時間カードを放置する
  - 取り付けてすぐにカードを取り出す

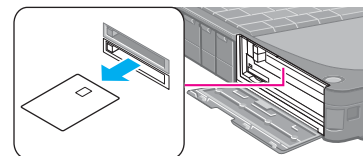
スマートカードの取り付け／取り出し

■ カードを取り付ける

1　カバーを開ける。

① ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

2　接触部分（D）を前にして、下のスロット（E）に挿し込む。

- スロットの奥までしっかりと挿し込んでください。

■ カードを取り出す

1 カバーを開け（➔45ページ 手順1）、カードをまっすぐに引き出す。

RAM モジュール

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

RAM モジュール仕様：
200 ピン、SO-DIMM、1.8 V、DDR2 SDRAM、PC2-5300
（推奨品については、当社の最新カタログやホームページでご確認ください。）

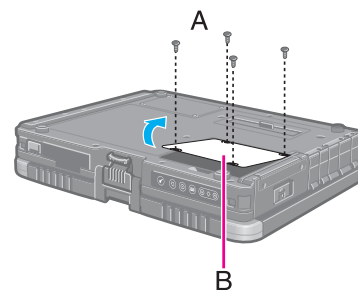
お願い

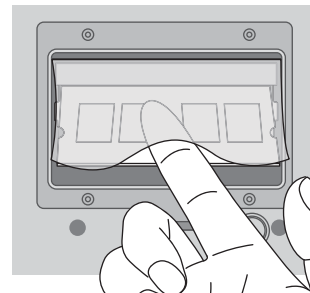
- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け／取り外しの際には、パソコン内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になったりします。

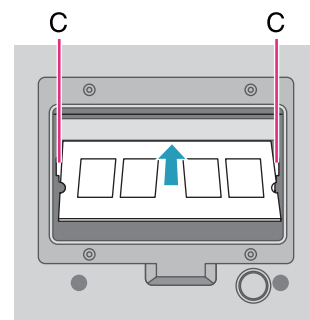
RAMモジュールの取り付け／取り外し

1 **パソコンの電源を切る。**
- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

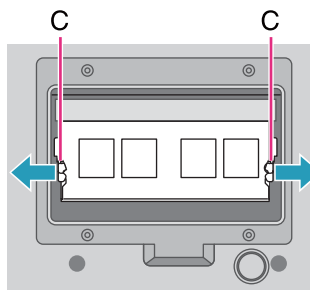
2 **ACアダプターを取り外し、バッテリーパックを取り出す。（➔29ページ）**

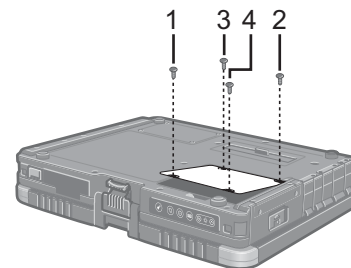
3 **パソコン底面のネジ（A）とカバー（B）を取り外す。**

4 RAMモジュールを取り付ける／取り外す。

- 右の図のようにシートを持ち上げてから、RAM モジュールの取り付け／取り外しを行ってください。

- 取り付けるには

① モジュールを少し傾け、スロットに挿入する。
② 左右のフック（C）でロックされるまでモジュールを倒す。

• 説明のためにシートを省略しています。

- 取り外すには

① 左右のフック（C）をゆっくり開く。
モジュールが持ち上がります。
② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

• 説明のためにシートを省略しています。

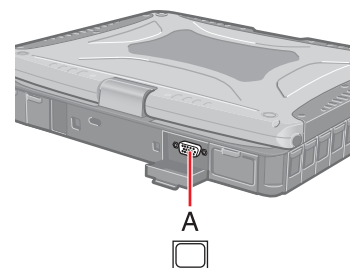
5 カバーとバッテリーパックを取り付ける。
ネジを1～4の順に締めてください。

お願い

- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

お知らせ

- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAM モジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューに合計メモリーサイズが表示されます。（➔97ページ）
RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

外部ディスプレイ

画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

お知らせ

- スリープ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スリープ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。 **Fn**+**F3**を押すと、外部ディスプレイまたは内部 LCD に切り替わります。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先を**Fn**+**F3**で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 高解像度の外部ディスプレイを使用する場合、[Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面の[ディスプレイデバイス]で[ノートブック]（内部LCD）に切り替えると、画面の色や解像度、リフレッシュレートが変更されることがあります。
  画面の表示先の切り替えは、 **Fn**+**F3**を使うことをお勧めします。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [画面の解像度の調整] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ドライバ] - [ドライバの更新]をクリックする。

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、Fn+F3を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、Fn+F3を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合は、パソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

表示先を切り替える

1 **Fn+F3を押す。**

押すたびに、以下のように切り替わります。

内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。

■ 拡張デスクトップモードへ切り替える

1 **外部ディスプレイを接続する。**

- [検出された新しいディスプレイ]画面が表示されます。この画面が表示されないときは、「拡張デスクトップモードの設定を変更する」（➔52ページ）の手順を実行してください。

2 **[各ディスプレイにデスクトップの異なる部分を表示する(拡張)]をクリックする。**

3 **[右]または[左]をクリックし、[OK]をクリックする。**

■ 拡張デスクトップモードの設定を変更する

1 **デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。**

2 **[動作モード]で[拡張デスクトップ]を選択し、[プライマリ デバイス]と[セカンダリ デバイス]を設定する。**

3 **[ディスプレイ設定]をクリックして画面の色や解像度などを設定する。**

4 **[OK]をクリックする。**

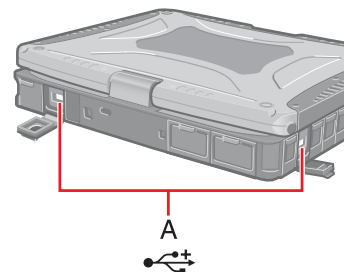
お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- Fn+F3を押してディスプレイを切り替えることはできません。
- 拡張デスクトップモード使用時は画面回転機能を使わないでください。
- 左（プライマリ デバイス）と右（セカンダリ デバイス）を入れ替えるときは、ディスプレイの設定をいったんノートブックのみに戻してから、次の手順を行ってください。
  ① デスクトップを右クリックし、[グラフィック オプション]をクリックする。
  ② [出力先] - [ノートブック]をクリックする。
  ③ デスクトップを右クリックし、[グラフィック オプション]をクリックする。
  ④ [出力先] - [拡張デスクトップ]をクリックし、[PC モニタ + ノートブック]（外部ディスプレイがプライマリーデバイスに設定される）か、または[ノートブック + PC モニタ]（内部 LCD がプライマリーデバイスに設定される）をクリックする。
- 拡張デスクトップモードへ切り替えるときは、必ず[Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面か、[検出された新しいディスプレイ]画面を使用してください。これ以外の方法（画面の設定など）を使用すると、画面が正常に表示されないことがあります。
- Fnキーの組み合わせを押したときに表示されるポップアップアイコンは、プライマリーデバイス側に表示されます。
- タッチパネルを使用しているときは、内部 LCD をプライマリーデバイスとして設定してください。内部 LCD に触れると、プライマリーデバイス上でカーソルが動きます。

USB機器の取り付け／取り外し

■ USB機器を取り付ける

1 **カバーを開け、USB 機器を USB ポート（A）に接続する。**

詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USB機器を取り外す

1 **USB機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックし、USB 機器を選択して[OK]をクリックする。

- 次の場合は、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - アイコンが表示されていないとき
  - 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2 **USB機器を取り外す。**

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB キーボードやマウスを接続した状態でパソコンがスリープまたは休止状態に入ったとき、USB キーボードのキーか、またはマウスに触れると、パソコンはリジュームを実行します。
- USB 機器が接続されていると、スリープ機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンのスイッチを入れたまま USB 機器を抜き挿しすると、⚠がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー電力で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 対応機器を接続することができます。

お知らせ

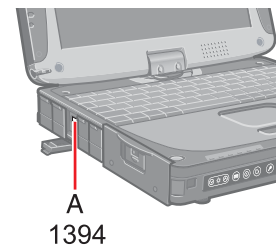
- IEEE1394機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくは IEEE1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

■ IEEE1394 機器を接続する

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。

1 **パソコンとIEEE1394機器の電源を入れる。**

2 **カバーを開け、IEEE1394 コネクター（A）にIEEE1394 機器を接続する。**
詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

■ IEEE1394 機器を取り外す

お願い

- 必ずパソコンの電源を切ってからIEEE1394機器の電源を切ってください。

1 **パソコンの電源を切り、IEEE1394コネクターからケーブルを取り外す。**

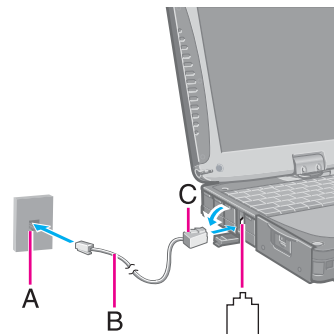
2 **IEEE1394機器の電源を切り、ケーブルを取り外す。**

< モデム内蔵モデルのみ >

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **カバーを開け、モジュラーケーブル（付属）（B）を使って、電話コンセント（A）に接続する。**

- 突起部（C）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

2 **（スタート）- [コントロールパネル] - [インターネットへの接続] - [ダイヤルアップ]をクリックし、必要に応じて設定を変える。**

お知らせ

- 通信中は、スリープ機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（C）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスリープ状態からリジュームします。

1 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows FAX とスキャン]をクリックする。**

2 **[ツール] - [FAX の設定]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- ご使用のモデムがデバイス名に表示されているか確認してください。表示されていなければ、[FAX デバイスの選択] をクリックして正しいモデムを選択してください。

3 **[デバイスで FAX 呼び出しを受信できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

4 **(スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

5 **[モデム]をダブルクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**

6 **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

■ パソコンがスリープ状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間が経過するとパソコンはスリープ状態に入ります。[なし]に設定しておくと、通信の途中でスリープ状態に入ることはありませんが、リジュームした後スリープ状態に入りません。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション] - [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

② 通信時間を予測して、スリープ状態に戻る時間を設定する。

お知らせ

- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- AC アダプターを接続してください。
- スリープ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。（PCカードモデムなどは使えません。）

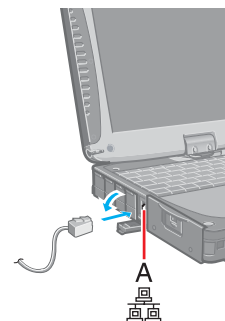
LAN を接続する

1 **パソコンの電源を切る。**

- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **カバーを開け、ケーブルを接続する。**

LAN ケーブルを使って、LAN コネクター（A）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。

3 **パソコンの電源を入れる。**

Power On by LAN機能／有線 LAN Wake Up 機能

お知らせ

- 有線 LAN Wake Up 機能を有効にしていると、パソコンがスリープ・休止状態のときやパソコンの電源が切れている状態でも電力を消費します。必ずACアダプターを接続してください。
- 有線 LAN Wake Up 機能を使わない場合は、この機能を無効にしてください。（➔60ページ）
- セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合でも、本機能による起動やリジュームの際にパスワードの入力は必要ありません。
- 次の場合はPower On by LAN 機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上スライドさせてパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- パソコンがスリープからリジュームしても画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。

Power On by LAN機能を有効にする

内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

1 **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。(➔100ページ)**

2 **「[重要] お知らせ」画面で、Enterを押す。**

3 **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

4 **管理者のユーザーアカウントでログオンする。**

5 **(スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックし、[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。**

6 **[プロパティ]の[PMEをオンにする]をクリックし、[値]で[オン]を選択し、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。
  ③ [プロパティ]の[Wake on 設定]をクリックし、[値]で[Wake On Magic Packet]を選択し、[OK]をクリックする。
- Windowsを強制終了すると、Power ON by LAN機能は働きません。

有線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする

有線 LAN Wake Up 機能が有効なときに、内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープ状態や休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には無効に設定されています。）
有線 LAN Wake Up 機能は、次の手順で有効／無効の切り替えができます。

1 **（スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

2 **[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックする。**

3 **[電源の管理]をクリックし、[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

- 上記 2 つの項目のオン／オフ設定は同時に行うことをお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンがリジュームする場合があります。
意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
  ③ [このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする] - [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

無線通信をオン／オフする

< 無線 LAN、Bluetooth 、ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ >

無線通信のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- 無線切り替えスイッチで切り替える（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔63 ページ）
- [ネットワークと共有センター]の設定を変更する（➔65ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔101 ページ）

お知らせ

- 無線LANについて詳しくは：➔65ページ
- Bluetooth について詳しくは：➔72ページ
- 無線LANのオン／オフは、LANケーブルの接続状態によって、自動的に切り替えることもできます。(➔92ページ)
- ワイヤレスWANについて詳しくは：➔無線機器の説明書をご覧ください。
- 本機のワイヤレスWAN機能を使用するためには、NTT ドコモのFOMA回線契約と、必要に応じてFOMA HIGH-SPEEDに対応したプロバイダー（mopera Uなど）との契約が必要です。

➔ デスクトップの をダブルクリックし、[ドコモ 回線のお申し込み]のリンク先（http://askpc.panasonic.co.jp/dl/hspc/wwan/)の記載内容にしたがってください。

無線切り替えスイッチで切り替える

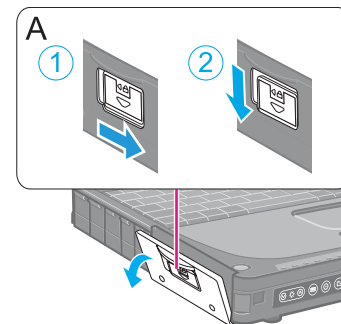
1　カバーを開ける。

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

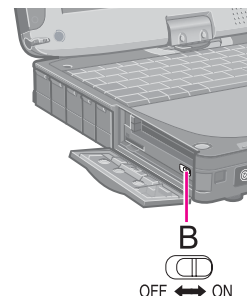
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

2　無線通信の有効／無効を切り替える

- 無効にする

① 無線切り替えスイッチ（B）をOFF側にスライドする。

- 有効にする

① 無線切り替えスイッチ（B）をON側にスライドする。

- 工場出荷時は、無線切り替えスイッチを ON にすると、すべての無線機器が有効になるように設定されています。

■ 無線通信の状態を確認するには

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**

ツールのヒントが表示されます。

お知らせ

- 無線ユーティリティをアンインストールするときは、あらかじめ無線切り替えスイッチをON側にスライドさせておいてください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線切り替えスイッチの入／切の直後には、再起動やログオフをしたり、スリープ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動処理中／シャットダウン中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線通信を使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで無線機器（「無線LAN」／「Bluetooth」／「ワイヤレスWAN」）を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔101ページ）
  - 「ネットセレクター 2」で無線LANを選択してください。（➔73ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔101ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線LAN通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイス マネージャ]でIEEE802.11a設定を変更すると（➔68ページ）、それにともない状態表示も変わります。

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティを使って、無線切り替えスイッチの設定を変更することができます。また、画面右下のタスクトレイのアイコンを使って無線機器を有効／無効にすることもできます。工場出荷時には、すべての無線機器がオンに設定されています。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイの無線切り替えユーティリティアイコンは、無線機器の状態を表します。

- ：無線機器がオンのとき
- ：無線機器がオフのとき
- ：無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機器を個別にオン／オフする

1 画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（またはをクリックし、ポップアップメニューを表示する。

2 メニューを使って、無線機器のオン／オフを切り替える。

■ 無線切り替えスイッチの設定を変更する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを切にすると、切にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。再び無線切り替えスイッチを入にすると、各無線機器は切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線切り替えスイッチをONにしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は、[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）

[以下のデバイスをオンする]
無線切り替えスイッチをONにしたときにオンにしたい無線機器を選択してください。

[無線切り替えスイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線切り替えスイッチをONにすると、最後に無線切り替えスイッチをOFFにしたときのオン／オフ設定が選択されます。

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（　または　）をクリックし、[設定]をクリックする。**

2 **無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。**

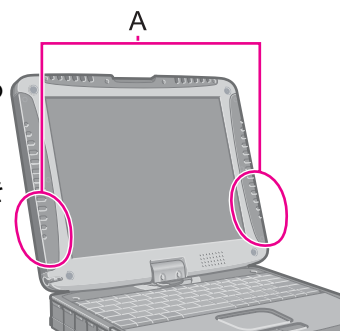
3 **[OK]をクリックする。**

< 無線 LAN 内蔵モデルのみ >

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔101ページ）
- タブレットモードで画面回転ツールを使っているとき、無線通信が一時的に妨げられる場合があります。

無線 LAN 機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

無線 LAN 通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、無線 LAN をオン／オフする。****(➔61ページ)**

- 無線 LAN をオンにするとき
  無線切り替えスイッチで無線 LAN をオンにできなければ、無線切り替えユーティリティの設定（➔63ページ）を確認してください。無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにできなければ、次の手順を実行してください。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックする。

② [ネットワーク接続の管理]をクリックする。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[有効にする]をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- [ワイヤレス ネットワーク接続]がすでに有効に設定されているときは、[無効にする]が表示されます。

④ 無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにする。(➔63ページ)

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティを使わずに、次の手順を実行して無線 LAN をオンにすることもできます。
  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [共通で使うモビリティ設定の調整]をクリックする。
  ② [ワイヤレス ネットワーク]で[ワイヤレスをオンにする]をクリックする。
  - ワイヤレスネットワークがすでに有効に設定されているときは、[ワイヤレスをオフにする]が表示されます。
  - 無線切り替えスイッチがオフになっているときは、[ワイヤレスをオンにする]は選択できません。

無線 LAN のアクセスポイントを設定する

準備

無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に従って、アクセスポイントがパソコンを認識できるように設定してください。

1 **無線 LAN をオンにする。**

2 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。**
ご使用のパソコンが別のネットワークに接続されているときは、[接続または切断]をクリックしてください。
[ネットワークに接続]画面が表示されます。

3 **をクリックしてアクセスポイントを選択し、[接続]をクリックする。**

4 **設定したアクセスポイントに対応するキーを入力し、パソコンを認識させて[接続]をクリックする。**
パソコンが無線 LAN のアクセスポイントへ接続するまでお待ちください。
[正しく接続しました]が表示されたら、無線 LAN の設定は完了です。
- [このネットワークを保存します]にチェックマークを付けると、パスワード、設定などを保存できます。
- [この接続を自動的に開始します]にチェックマークを付けると、パソコンが自動的にアクセスポイントを検出してインターネットへ接続します。

5 **[閉じる]をクリックする。**

お知らせ

- 設定内容はネットワーク環境によって異なります。詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。
- アクセスポイントの自動検出を制限するステルスモードでアクセスポイントへ接続するときは、次の手順を実行してください。
  次の手順を実行しないと、アクセスポイントにアクセスできなかったり、[ネットワークに接続]画面にアクセスポイントが表示されなかったりすることがあります。
  ① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター]- [接続またはネットワークのセットアップ] - [ワイヤレス ネットワークに手動で接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする。
  ② 必要な情報を入力し、[この接続を自動的に開始します]と[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
  詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a の 5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a（W52、W53）を無効に設定しておいてください。
5.47GHz ～ 5.725GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックする。**

2 **[802.11a 有効]または[802.11a 無効]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（または）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線 LAN、Bluetooth、ワイヤレスWAN のオン／オフ状態を示しています。
- パソコンが IEEE802.11b/g アクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11a を有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。

- [デバイス マネージャ]でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ネットワーク アダプタ]をダブルクリックし、[Intel(R) WiFi Link 5100AGN]をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定]をクリックし、[プロパティ]の[ワイヤレス モード]を選択する。
  ④ [値]で設定値([5. 802.11a/g]など)を選択する。
  ⑤ [OK]をクリックする。

無線切り替えユーティリティのポップアップメニューでIEEE 802.11a を有効または無効にすると、[デバイス マネージャ]の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	無線切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[6. 802.11a/b/g] [4. 802.11b/g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[3. 802.11g] [5. 802.11a/g]	a+g が有効	g が有効
[1. 802.11a] [2. 802.11b]	a が有効	b が有効

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔67ページ）IEEE802.11aの5.2GHz／5.3GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11a（W52、W53）を無効に設定しておいてください。
  5.47GHz～5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 FREESPOTの設定を選択する。

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」(または) を右クリックして、[ネットワークに接続]をクリックする。
② [FREESPOT]をクリックする。
③ [接続]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

無線LAN Wake Up機能を使う

無線LAN Wake Up機能を有効／無効にする

無線 LAN 経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープや休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には、無効に設定されています。）

1 **（スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

2 **[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) WiFi Link 5100AGN]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

3 **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

お願い

- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていても、無線障害やパソコンが無線LANアクセスポイントの通信範囲外に移動したことなどが原因で、短時間でも無線接続が切断されると、無線LAN Wake Up機能は無効に切り替わります。
- 無線LAN Wake Up機能は、無線切り替えスイッチを切にすると （➔61ページ）、無効に切り替わります。
- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スリープ・休止状態のときに、無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN状態表示ランプが点灯します。これは無線LANが使用できることを表しており、必ずしも無線LANが通信状態というわけではありません。

お知らせ

- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

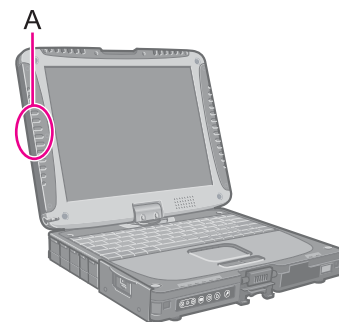
  ② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) WiFi Link 5100AGN]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。

  ③ [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。
- 無線切り替えスイッチが入で、無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スリープまたは休止状態でも電力は消費されます。
- ad hocモードでは、無線LAN Wake Up機能は働きません。
- IEEE802.11nを選んだ場合、無線LAN Wake Up機能は働きません。

<Bluetooth 内蔵モデルのみ >

ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔101ページ）
- Bluetoothのドライバーをアンインストールしたときは、Bluetoothを切にしてください。

Bluetooth機能を使う

Bluetooth をお使いになる前に、Bluetooth 通信をオンにしてください。

Bluetooth通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、Bluetoothをオン／オフする。（➔62ページ）**

Bluetoothの通信状態を確認する

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**

ツールチップが表示されます。

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズ ガイド]をクリックする。**

ネットセレクター 2でできること

ネットセレクター 2 は、自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合に、接続したネットワークに合わせて設定を切り替えることができるアプリケーションソフトです。
接続先や接続方法が変わると、そのたびに IP アドレスなどの設定を切り替える必要がありますが、ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録しておくと、IP アドレスや使用するプリンターを切り替えることができます。

■ ネットセレクター 2の基本機能

Windows には、次のネットワーク管理機能があります。
- 新たに接続されたネットワークを記憶する
- 記憶したネットワークの接続を識別する
- 識別したネットワークに応じたファイアーウォールの設定を適用する

ネットセレクター 2 は、このネットワーク管理機能と連動して、次の動作を行います。
- Windows に記憶されたネットワークに対して、IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定データを保存する
- Windows に記憶されたネットワーク [*1] に対して、保存した設定データを適用する [*2]
- LAN ケーブルの抜き挿しによって、無線 LAN の接続を停止 / 再開する [*3]

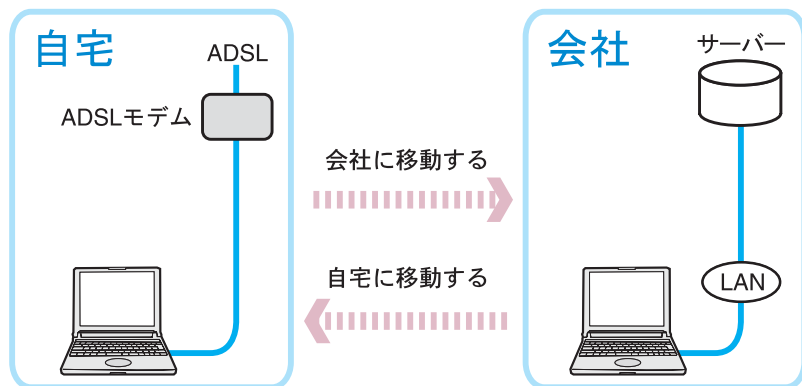
*1 すべてのネットワークが自動で識別されるわけではありません。識別されない場合は、「識別されていないネットワーク」と表示されます。
*2 Windows が自動識別するネットワークに対しては、自動的に設定データを適用することもできます（オプションの設定：➔92 ページ）。
*3 オプションの設定が必要です（➔92 ページ）。

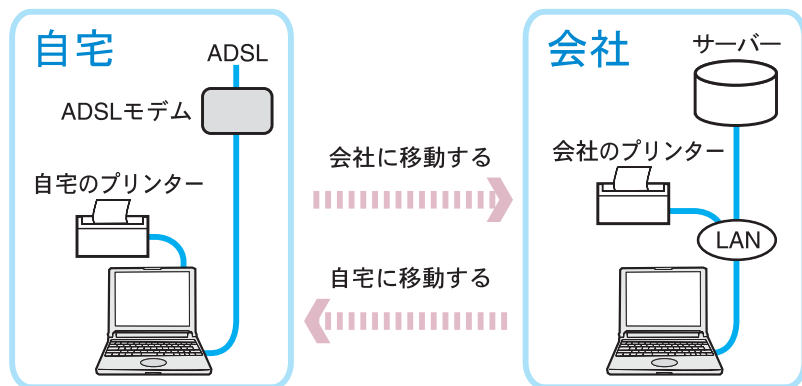
お願い

- ネットセレクター 2に登録されるIPアドレスはIPv4のみです。IPv6には対応していません。
- Guestアカウントでは使用できません。

■ 複数のネットワークを使い分ける

場所によってネットワークへ接続する設定が異なる場合、ネットセレクター 2 に設定を登録しておくことで、簡単に設定を切り替えることができます。

例えば、次の図のように自宅では ADSL、会社では有線 LAN に接続している場合、ネットセレクター 2 で設定を切り替えることができます。どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔92 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。

■ 接続するネットワークに合わせて、通常使うプリンターを切り替える

接続するネットワークによって通常使うプリンターが異なる場合、ネットセレクター 2 で通常使うプリンターを切り替えることができます。
どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔92 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。

お知らせ

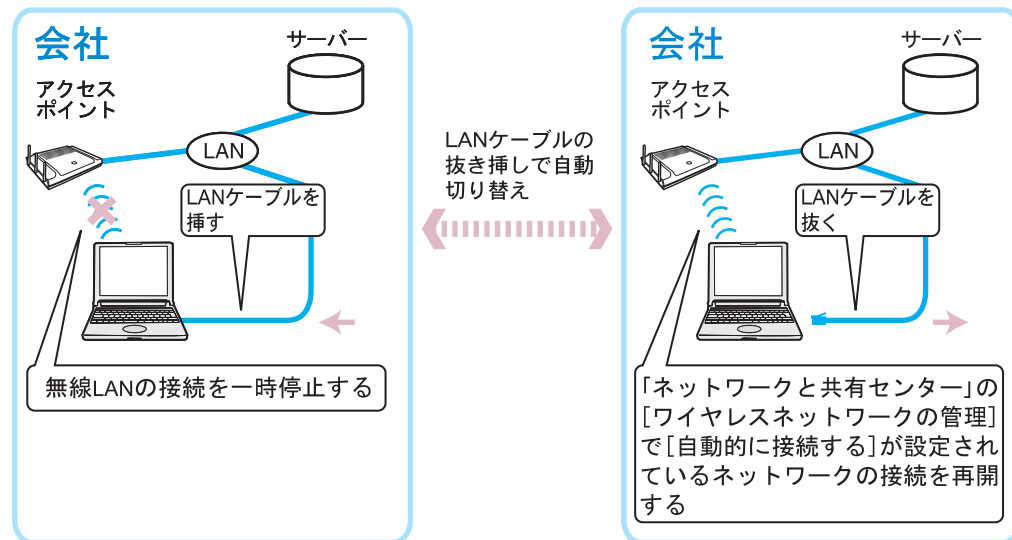
- あらかじめプリンターのドライバーをインストールしておく必要があります。

■ LANケーブルの抜き挿しによって、無線LAN接続を停止/再開する

LAN ケーブルを挿すと無線 LAN の接続を一時的に停止させ、LAN ケーブルを抜くと無線 LAN の接続を再開させることができます。

この機能を使うには、オプションの設定が必要です（➔92 ページ）。

ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。

電波状態が悪い場合は、LAN ケーブルを抜いたときに、無線 LAN で同じネットワークの接続が再開されない場合があります。

ネットワークの設定を登録する

ネットセレクター 2 を使うには、ネットワークの設定の登録が必要です。

■ ネットセレクター 2に登録される設定内容

- ネットワーク名
- IP アドレス
- DNS アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定（自動構成、プロキシサーバー設定）
- 通常使うプリンターの設定

■ ネットワークの設定を登録する

1 Windowsでネットワークの設定を行い、設定したネットワークに接続した状態にする。

登録するネットワークの設定データを作成してから、登録することもできます（➔77ページ）。

2 画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。

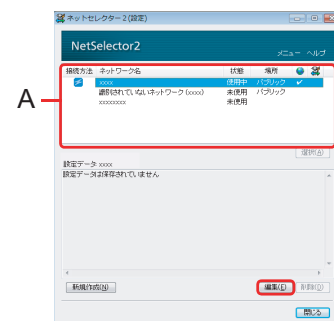
「ネットセレクター 2（設定)」画面は、(ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

通知領域に(ネットセレクター 2）が表示されていない場合は、(スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2]をクリックしてください。通知領域に(ネットセレクター 2）が表示されます。

3 **ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）から登録したいネットワーク名を選択し、[編集] をクリックする。**

ネットセレクター 2のネットワーク一覧には、次のネットワークが表示されます。

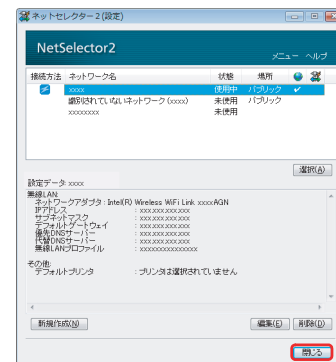
- 現在接続中のネットワーク
- ネットセレクター 2 に設定を登録したネットワーク

接続中のネットワークがなく、ネットセレクター 2に何も登録していない場合は、次の画面が表示されます。

4 **設定内容を登録し、[OK]をクリックする。**

ネットワークの設定がネットセレクター 2に登録されます。
設定内容を変更する場合は、[編集]をクリックして設定内容を編集してください（➔92ページ）。

5 **登録したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順1～4（➔76ページ）を繰り返す。**

6 **[閉じる]をクリックする。**

お願い

- ネットセレクター 2では、1つのネットワークに複数の有線LANアダプターまたは複数の無線LANアダプターを使って同時に接続することはできません。
- ネットセレクター 2に登録できる設定データは、1つのネットワークに対して1つです。
  1つのネットワークに対して複数のIPアドレスを登録したり、使用するユーザーごとに設定を登録したりすることはできません。登録した内容は、他のユーザーでも共用されます。
- ネットセレクター 2では、Windowsの [ネットワークと共有センター] の [カスタマイズ] - [ネットワークの場所を結合または削除します] で設定できる [ネットワークの場所の結合または削除] はサポートしていません。

お知らせ

- 接続中のネットワークの設定を登録または編集する場合、現在のネットワーク設定を取得する処理が行われます（10秒程度）。
- Windowsで自動認識されないネットワークは、「識別されていないネットワーク」と表示され、ネットセレクター 2では最大で8つまで登録できます。「識別されていないネットワーク」に対して複数の設定が登録されている場合は、前回選択された「識別されていないネットワーク」の設定が適用されます。他の設定に切り替える場合は、手動で選択してください（接続中の「識別されていないネットワーク」が複数ある場合は、ネットセレクター 2で操作することはできません）。

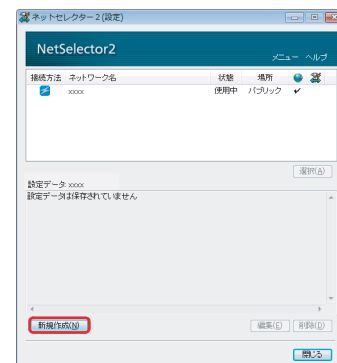
ネットワークの設定データを作成/適用する

現在接続しているネットワークの設定の登録とは別に、接続に適用する IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定をデータとして作成することができます。
作成した設定は、後からネットワークに接続して適用することができます。

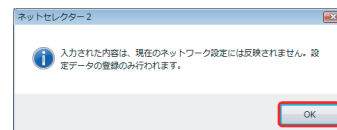
■ ネットワークの設定データを作成する

1 **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

2 **[新規作成]をクリックする。**

3 **設定内容を入力し、[OK]をクリックする。**

4 **[OK]をクリックする。**

ネットワークの設定が作成されます。
設定内容を変更する場合は、「ネットセレクター２（設定）」画面で[編集]をクリックしてください（➔92ページ）。

5 **作成したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順2～4を繰り返す。**

6 **[閉じる] をクリックする。**

お願い

● 上記手順では、ネットワークに接続するための設定データが作成されただけで、この設定データでネットワークに接続することはまだできません。接続するには、次の手順でネットワークに設定データを適用してください。

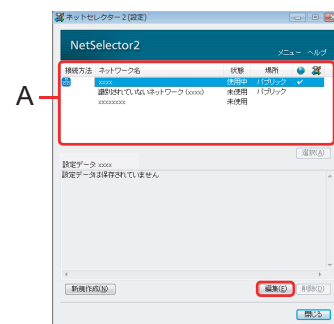
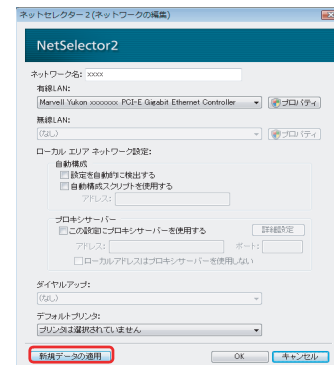
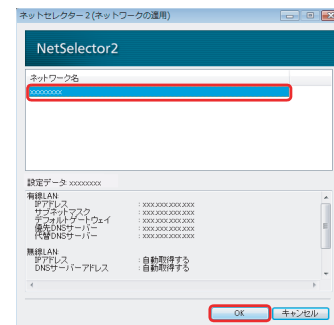
■ ネットワークの設定データを適用する

作成した設定データを、接続中のネットワークに適用します。

1　**適用したいネットワークに接続する。**

2　**画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

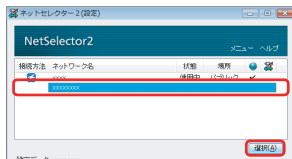
3　**ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）を選択し、[編集]をクリックする。**

4　**[新規データの適用]をクリックする。**

5 **適用する設定データをクリックし、[OK] をクリックする。**

お知らせ

- 次の方法でも、作成したネットワークの設定を適用することができます。

① 画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2) を右クリックし、[設定] をクリックする。

「ネットセレクター 2（設定)」画面は、(ネットセレクター 2) をダブルクリックしても表示できます。

②「ネットセレクター 2（設定)」画面で、作成した設定データを選択し、[選択] をクリックする。

作成した設定データのの項目にチェックマークが付き、設定データに従ってシステムのネットワーク設定（IPアドレスや、デフォルトゲートウェイなど）が変更されます。

③ ネットワークに接続する。
手順②で選択した設定データを使って接続するネットワークに接続してください。
変更されたシステムのネットワーク設定が接続中のネットワークに反映されます。

④「ネットセレクター 2（設定)」画面で、接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）を選択し、[編集] をクリックする。

⑤ 設定内容を登録し、[OK] をクリックする。

⑥ [閉じる] をクリックする。

画面の各部の名称と働き

ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録（➔76 ページ）すると、次の画面が表示され、設定の切り替えや編集ができます。

■「ネットセレクター 2（設定）」画面

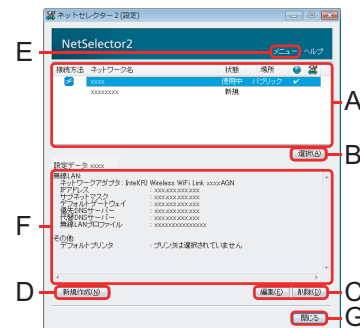
「ネットセレクター 2（設定）」画面は、画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックして [設定] をクリックするか、(ネットセレクター 2）をダブルクリックすると表示されます。

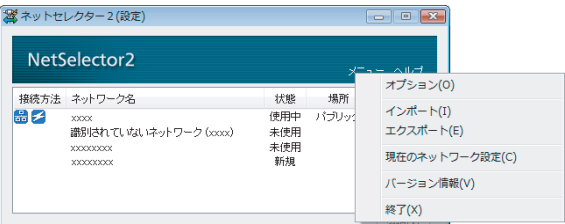
A. ネットワーク一覧
現在接続しているネットワークと設定が登録されているネットワーク、設定データが表示されます。インターネットに接続中のネットワークは の項目にチェックマークが付きます。設定を切り替えた場合（➔87ページ）などで最後に適用されたネットワークの登録には の項目にチェックマークが付きます。

[接続方法] の項目には、現在使用中のネットワークの接続方法がアイコンで表示されます。未使用のネットワークと設定データには表示されません。
: 有線LANで接続中
: 無線LANで接続中
: ダイヤルアップで接続中

B. [選択]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックすると、選択している項目の設定に切り替わります。項目を選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

C. [編集]、[削除]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックします。
[編集] をクリックすると、選択したネットワークの設定を登録／編集する画面が表示されます。
ネットワーク一覧（A）で何も選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

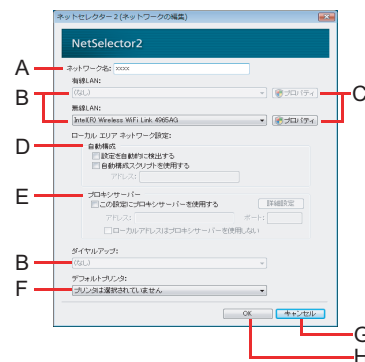
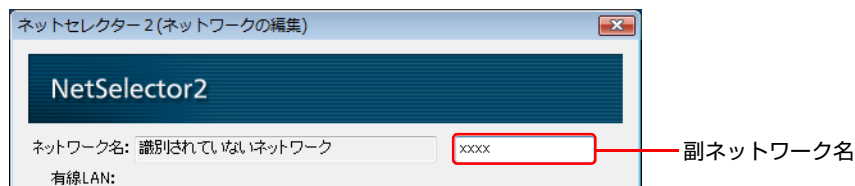
[削除] をクリックすると、選択したネットワークの設定がネットセレクター 2から削除されます。設定を登録したネットワークや作成した設定データが選択されていない場合はグレーで表示され、クリックできません。

D. [新規作成]
　クリックすると、ネットワークの設定データを作成する画面が表示されます。

E. [メニュー]
　クリックすると、次の画面のように各メニューが表示されます。
　[終了] をクリックするとネットセレクター 2 が終了し、画面右下の通知領域から (ネットセレクター 2) が消えます。
　ネットセレクター 2を再起動するには、 (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2] をクリックしてください。画面右下の通知領域に (ネットセレクター 2) が表示されます。

F. 登録した設定データの内容
　選択したネットワークの設定内容が表示されます。ネットワークの設定を登録していない場合は、「設定データは保存されていません」と表示されます。

G. [閉じる]
　「ネットセレクター 2（設定）」画面を閉じます。

■「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」/「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面

- 「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面を表示させるには、「ネットセレクター 2（設定）」画面でネットワーク一覧に表示されているネットワークまたは設定データをクリックし、[編集] をクリックします。
- 「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面を表示するには、「ネットセレクター 2（設定）」画面で [新規作成] をクリックします。

A. [ネットワーク名]
ネットセレクター 2に登録するネットワーク名を入力します。ネットワーク名は自由に入力することができます。
入力前は、Windowsが自動的に設定したネットワーク名が表示されます。
新規作成の場合は何も入力されていません。

ただし、「識別されていないネットワーク」と表示されている場合は変更できません。
この場合は、副ネットワーク名を入力して登録を行い、区別してください。
副ネットワーク名は自由に入力することができます。

B. ネットワークアダプターリストボックス
ネットワークの接続に使用しているか、またはネットワークの設定に登録されている有線LAN/無線LAN のネットワークアダプターとダイヤルアップ名を表示します。
現在接続に使用しているネットワークアダプターと登録されているネットワークアダプターが異なる場合は、接続に使用しているネットワークアダプターが表示されます。

C. [プロパティ]
IPアドレスなどの設定画面が表示されます。ネットワークの接続にIPアドレスなどが必要な場合に入力します。初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したIPアドレスが入力されています。
新規作成の場合は、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスを自動的に取得するように設定されています。
新規作成したデータを編集する場合は、作成時に設定した内容が入力されています。
標準ユーザーでログオンしている場合、入力には管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードが必要です。
[OK] をクリックすると、入力した内容が現在使用しているネットワークに反映されます。変更前の設定は [OK] をクリックした時点で上書きされるため、変更前のネットワーク設定を継続してお使いになる場合は、あらかじめネットセレクター 2に登録しておくか、メモに残すなどしてください。
ネットセレクター 2に登録する場合は、「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面で [OK] をクリックしてください。

D. [自動構成]
IPアドレスを自動で割り当てる場合は、[設定を自動的に検出する] にチェックマークを付けます。また、IPアドレスの自動割り当てにスクリプトを使用する場合は、[自動構成スクリプトを使用する] にチェックマークを付け、[アドレス] 欄に自動構成スクリプトのアドレスを入力します。

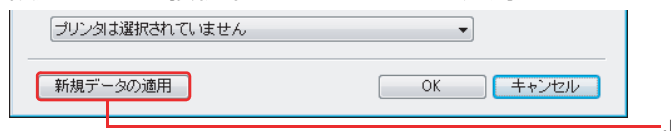
E. [プロキシサーバー]
プロキシサーバーを利用する場合は [この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、プロキシサーバーのアドレスとポートを入力します。[詳細設定] をクリックすると、「ネットセレクター 2（プロキシサーバー詳細設定）」画面（➔86ページ）が表示されます。
初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したアドレスとポートが入力されています。
新規作成の場合は何も入力されていません。

F. [デフォルトプリンタ]
選択したネットワークで通常使うプリンターを設定します。
通常使うプリンターを切り替えない場合は、[プリンタは選択されていません] を選択します。

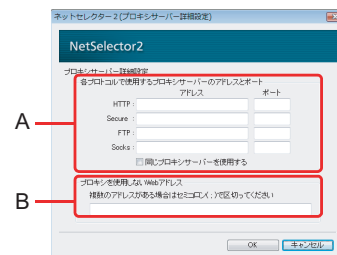
G. [キャンセル]
ネットワークの設定を登録せずに、画面を閉じます。

H. [OK]
ネットワークの設定が登録されます。

I. [新規保存]
「識別されていないネットワーク」の設定が1個～7個登録されているとき表示されます。「識別されていないネットワーク」に対して、新規にネットワーク設定が登録されます。

J. [新規データの適用]
「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面で設定データを作成している場合にのみ表示されます。作成した設定データを接続中のネットワークに適用します。

■「ネットセレクター 2（プロキシサーバー詳細設定）」画面

画面を表示させるには、「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面または「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面で、[この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、[詳細設定] をクリックします。

A. [各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポート]
HTTPやFTPなどの各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポートを個別に設定できます。
[同じプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付けると、すべてのプロトコルに同じアドレスとポートを設定します。会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。

B. [プロキシを使用しないWebアドレス]
ローカルアドレスなど、プロキシサーバーを使用しないで接続するWebアドレスを入力します。
会社で接続する場合の詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ネットワークの設定を切り替える

ネットワークの設定を切り替える

1 **切り替えたいネットワークに合わせて準備をする。**

- 接続方法を有線 LAN へ切り替える場合
  LAN ケーブルの突起部を本機の LAN コネクターの向きに合わせて挿し込み、もう一方をハブやルーター、ADSL モデムなどに接続してください。
- 接続方法を無線 LAN へ切り替える場合
  本機の無線切り替えスイッチを右（ON 側）へスライドしてください。
- 接続方法を電話回線へ切り替える場合

  ①通知領域のを右クリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。
  ②ダイヤルアップ接続を選択し、[接続]をクリックする。

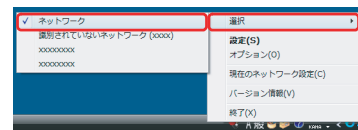
お知らせ

- Windowsやネットセレクター 2の設定によっては、ケーブルを挿し込んだり無線切り替えスイッチをオンにしたりするだけで、ネットワークに接続できる場合もあります。
- ネットセレクター 2では、ダイヤルアップ接続の起動は行いません。

2 **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックする。**

3 **[選択] をクリックし、接続したい登録済みのネットワーク名または作成した設定データをクリックする。**

選択したネットワークの登録内容（IPアドレスや使用するプリンターなど）に切り替わります。
また、次の方法でもネットワークの設定を切り替えることができます。

① 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）をダブルクリックする。
② 「ネットセレクター 2（設定）」画面のネットワーク一覧に表示されている項目から接続したいネットワーク名を選択し、[選択] をクリックする。
③ [閉じる] をクリックする。

現在のネットワークの設定を確認する

現在のネットワークの設定を確認することができます。

1 **画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2）を右クリックし、[現在のネットワーク設定] をクリックする。**
設定の表示に数秒程度かかる場合があります。

2 **内容を確認し、[閉じる] をクリックする。**

また、次の手順でも確認できます。

① 画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2）をダブルクリックする。
② 「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー] - [現在のネットワーク設定] をクリックする。

登録したネットワークの設定を変更/削除する

ネットセレクター 2 に登録したネットワークの設定内容を変更したり、プロバイダーを変更して使用しなくなったネットワークの設定を削除したりすることができます。

■ ネットワークの設定を変更する

1 **画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。**
「ネットセレクター 2（設定)」画面は、(ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

2 **設定を変更したいネットワーク名をクリックし、[編集]をクリックする。**

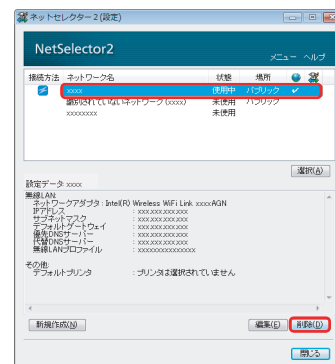
3 **設定内容を変更し、[OK] をクリックする。**
- 変更した設定内容が反映されます。
- 「識別されていないネットワーク」に対して複数の登録を行いたい場合は、[新規保存] をクリックしてください。

4 **[閉じる]をクリックする。**

■ ネットワークの設定を削除する

1 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

2 削除したいネットワーク名をクリックし、[削除] をクリックする。

3 「設定データを消去してよろしいですか？」という画面で、[はい] をクリックする。

4 他の設定も削除する場合は、手順*2*～*3*を繰り返す。

5 [閉じる]をクリックする。

登録したネットワークの設定をバックアップ/復元する

ネットワークの設定を誤って変更した場合、ネットワークの設定を再び行うのは大変な作業です。
ネットセレクター 2 のエクスポートとインポート機能を使うと、ネットワークの設定をバックアップしたり、復元したりすることができます。個々に再設定する必要はありません。

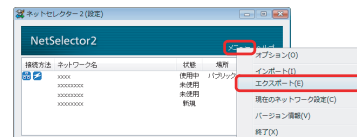
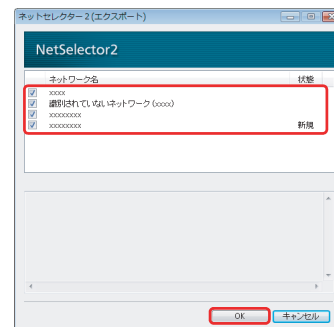
お願い

- 次のような場合に備えて、ネットワークの設定をバックアップしておくことをお勧めします。
  - パソコンの買い換えなどで、今まで使っていたパソコンのネットワーク設定をそのまま新しいパソコンで使いたいとき
  - Windows を再インストールするとき
  - 設定を誤って変更してネットワークに接続できなくなった場合など、元の設定に戻したいとき

■ ネットワークの設定をバックアップする

1 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。

「ネットセレクター 2（設定)」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

2 [メニュー] をクリックし、[エクスポート] をクリックする。

3 エクスポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。

4 「名前を付けて保存」画面でファイル名を入力し、[保存] をクリックする。

同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター 2（設定)」画面に戻ります。

5 [閉じる] をクリックする。

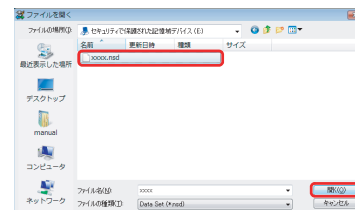
6 手順*4*で保存したデータを、SDメモリーカードなどにコピーする。

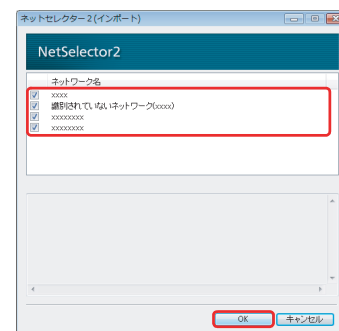
■ ネットワークの設定を復元する

1 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

2　[メニュー] をクリックし、[インポート] をクリックする。

3　インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックする。

4　インポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。

インポートしない設定データは、クリックしてチェックマークを外してください。
同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター 2（設定）」画面にネットワークの設定が追加されます。

5　[閉じる] をクリックする。

お知らせ

- 復元する設定と同じ名前の設定がネットセレクター 2に登録されている場合は、復元する設定の名前に（2）、（3）と番号が自動的に割り当てられます。

復元したネットワークの設定を適用する場合は、「ネットワークの設定データを適用する」の手順 *1*（➔80 ページ）をご覧ください。

オプションの設定をする

ネットセレクター 2 のオプション画面では、ネットワークの設定を切り替えたときにお知らせを表示したり、有線 LAN で接続したときに無線 LAN を自動的に切断したりするなどの設定ができます。

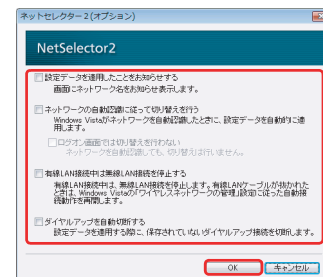
オプションは次の手順で設定します。

1 画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2) を右クリックし、[オプション] をクリックする。

「ネットセレクター 2（オプション)」画面は、(ネットセレクター 2) をダブルクリックし、「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー] - [オプション] をクリックしても表示できます。

2 設定したい項目をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。

初期設定は、すべてオフに設定されています。
各項目の説明に従って、お使いの接続環境に合わせて設定してください。
オプションの設定は、登録されているすべてのネットワークの設定に適用されます。

- **ネットワークの設定が切り替わったことを知らせてほしい場合**
  [設定データを適用したことをお知らせする] をクリックしてチェックマークを付けてください。
  登録しているネットワークの設定に切り替えたとき、画面右下の通知領域にネットワーク名が表示され、設定が切り替わったことをお知らせします。
- **自動的にネットワークの設定を切り替えたい場合**
  - [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットセレクター 2 に登録しているネットワークを Windows が自動認識した場合、自動的に登録した内容を設定します。
    設定はネットワークの状況が変化したときに行われます。お使いの環境で頻繁にネットワークの状況が変化する場合、設定の切り替えが頻繁に発生してしまうことがあります。
    この機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。
  - [ログオン画面では切り替えを行わない] をクリックしてチェックマークを付けると、Windows 起動直後のログオン画面や、Windows からログオフした後に表示されるログオン画面では、登録された内容を自動で設定しません。
    ログオンしているユーザーがいる場合は、ログオン画面でも登録された内容が自動的に設定され、接続するネットワークの設定が切り替わります。

- **無線 LAN で接続中のネットワークに有線 LAN で接続したとき、自動的に無線 LAN を停止したい場合**
  - [有線 LAN 接続中は無線 LAN 接続を停止する] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    この機能は、「ネットワークと共有センター」の [ワイヤレスネットワークの管理] で [自動的に接続する] が設定されているワイヤレスネットワークに使用できます。
  - LAN ケーブルを接続したとき、無線 LAN を一時的に停止します。LAN ケーブルを抜いたとき、無線 LAN の接続を再開しようとします。
    無線 LAN の再構築については、ワイヤレスネットワークの「自動的に接続する」の設定が反映されます。「自動的に接続する」が無効になっている場合は、自動的に接続は再開されません。

  電波状態が悪い場合などは、無線LAN で同じネットワークに再接続されない場合があります。**ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみ、この機能をお使いください。**

- **ネットワークの設定を切り替えたときに自動的にダイヤルアップ接続を切断したい場合**
  - [ダイヤルアップを自動切断する] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットワークの設定を切り替えたとき、設定にダイヤルアップ接続が登録されていない場合は自動的にダイヤルアップ接続を切断します。
    ただし、再度ダイヤルアップで接続する場合は、手動で接続する必要があります（自動的に接続は再開されません）。

お願い

- 次の機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。
  - [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] 機能
  - [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] 機能
- [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] が設定されている場合
  - 無線LANの停止/再開はインフラストラクチャモードの無線LANに対して行われます。
- 次の場合、ネットワークの設定を手動で切り替えてください。
  - IPアドレスが固定アドレスの場合（[IPアドレスを自動的に取得する] に設定していない場合）
  - デフォルトゲートウェイアドレスを設定しないネットワークに接続する場合
  - 別々のネットワークに接続可能なアクセスポイントが利用可能な範囲にあり、現在使用中の無線LANのIPアドレスが固定アドレスに設定されている場合
- [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] にチェックマークが付いている場合
  - ネットワークの自動認識をより行いやすくするために、ネットワークが切断された際に、有線LANおよび無線LANのIPアドレスの設定を [IPアドレスを自動的に取得する] に変更する場合があります。
- 有線LAN/ 無線LANのネットワークアダプターがデバイスマネージャーで無効になっている場合は、登録された設定に切り替わりません。

ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください。（➔103ページ）
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

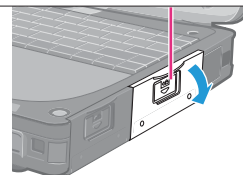
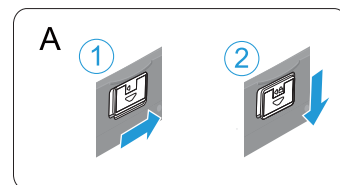
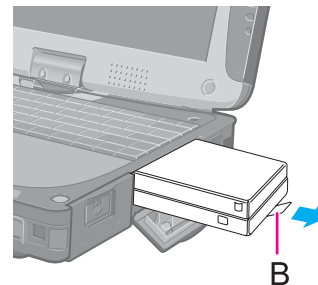
- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

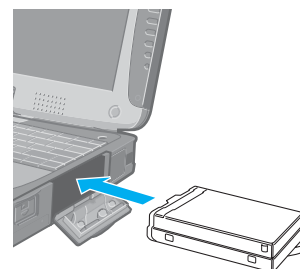
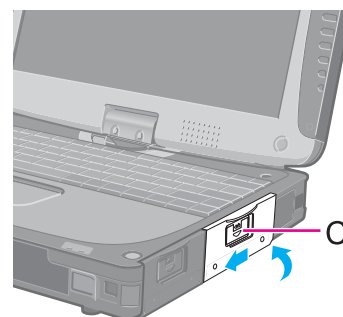
2 **バッテリーパックを取り外す（➔29ページ）。**

3 **ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。**

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

③ ハードディスクドライブのタブ（B）を引いて、スロットから取り出す。

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとハードディスクドライブを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じ、ラッチ（C）をスライドしてカバーをロックする。

4 バッテリーパックを取り付ける（➔29ページ）。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。(➔115ページ)
- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます（➔97ページ）。ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間にF2またはDelを数回押す。**

[パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、項目の設定を変更することはできません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9（デフォルトの設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

言語（Language）	English 日本語（Japanese）

製品情報

機種品番 製造番号	パソコン情報 （変更はできません）

システム情報

プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク	パソコン情報 （変更はできません）

BIOS 情報

BIOS 電源コントローラー 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 （変更はできません）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
システム日付 • 年／月／日 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx]
システム時間 • 24 時間制です。 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

項目	設定
フラットパッド	無効 有効
タッチパネルモード	タッチパネルモード タブレットモード 自動
現在の状態 • 「タッチパネルモード」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	—
Fn ／左 Ctrl キー	標準 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD
充電中バッテリー状態表示	点灯 明滅
Power On AC	無効 有効
LID スイッチ	無効 有効
環境	常温 高温 自動

現在の状態 ・「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。
▶Concealed Mode 設定	サブメニュー表示 [*1]

[*1] 「Concealed Mode 設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

Concealed Mode	無効 有効
LCD バックライト ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン 最低輝度 オフ
LED ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。 ・SD メモリーカード状態表示ランプ SD や、外部デバイスの LED には働きません。	オン オフ
サウンド ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン オフ
無線電波 ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン オフ

詳細メニュー

CPU 設定　　下線は工場出荷時の設定です。

データ実行防止機能 ・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。	無効 有効
Core Multi-Processing	無効 有効
Intel（R）Virtualization Technology	無効 有効
Intel（R）Trusted ExecutionTechnology	無効 有効

周辺機器設定

項目	設定
▶ シリアルポート設定 • シリアルポート A ／ B および GPS を設定します。	サブメニュー表示 *2
LAN	無効 有効
Power On by LAN 機能 •「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 • [Power On by LAN 機能] を使うには、[デバイス マネージャ] でも設定が必要です。（➔58 ページ）	禁止 許可

*2 「シリアルポート設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
シリアルポートA	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
シリアルポートB	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートB」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
GPS • GPS内蔵モデルのみ	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 •「GPS」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
無線スイッチ	無効 有効
無線 LAN • 無線 LAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
ワイヤレス WAN • ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth • Bluetooth 内蔵モデルのみ	無効 有効
モデム • モデム内蔵モデルのみ	無効 有効
ExpressCard スロット • エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
PC カードスロット	無効 有効
SD スロット	無効 有効
IEEE1394 ポート	無効 有効
スマートカード • スマートカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
USB ポート	無効 有効
ポートリプリケーター USB ポート • 設定を変更する必要はありません。	無効 有効
レガシー USB • 「USB ポート」または「ポートリプリケーター USB ポート」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	無効 有効

起動メニュー

起動オプション優先度

起動オプション #1 起動オプション #2 起動オプション #3 起動オプション #4 起動オプション #5	USB フロッピー[*3] ハードディスク USB CD/DVD ドライブ LAN USB ハードディスク

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の起動順位は「USB フロッピー[*3]」→「ハードディスク」→「USB CD/DVD ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」です。

- 変更したい起動デバイス上で **Enter** を押し、起動デバイスを下記のメニューから選んでください。
  - 新たに選択した起動デバイスが、すでに「起動オプション (#1 ～ #5)」のいずれかにある場合、元の起動デバイスと、新たに選択した起動デバイスの起動順位が入れ替わります。
  - 以下のメニューで「無効」を選んだ場合、無効になった「起動オプション」は認識されず、その次の起動デバイスが作動します。

ハードディスク LAN USB フロッピー[*3] USB ハードディスク USB CD/DVD ドライブ 無効

[*3] 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（別売り：CF-VFDU03U）

セキュリティメニュー

起動時の表示設定　　下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
Setup Utility 表示 • 「Setup Utility 表示」が「無効」になっていると、[Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージが [Panasonic] 起動画面に表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても **F2** と **F12** は働きます。	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 • 「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護する 保護しない
ユーザーパスワード設定 • 「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	サブメニュー表示
▶ 内蔵セキュリティ（TPM） • 内蔵セキュリティ（TPM）内蔵モデルのみ • 詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。(スタート) をクリックし、[検索の開始] に 「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、 **Enter** を押してください。	サブメニュー表示
▶AMT 設定 • Intel(R) AMT 対応モデルのみ	サブメニュー表示

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する

保存オプション

設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す

デバイスを指定して起動

（デバイス情報）	次の起動時にのみ作動するデバイスを選択する

▶ コンピュータの修復	システム回復ツールを実行する

▶ 診断ユーティリティ	診断ユーティリティを実行する

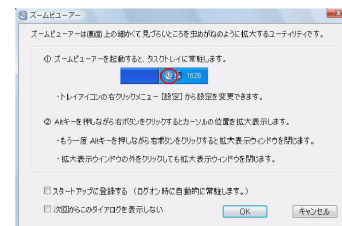
ズームビューアー

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーをインストールする

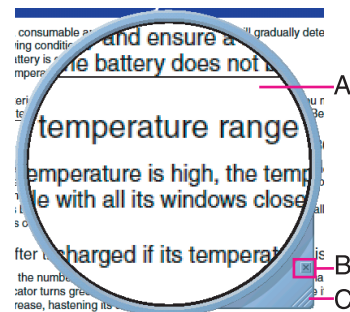
1. 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
2. (スタート)をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥loupe¥setup.exe]と入力してEnterを押す。
3. 画面の指示に従ってインストールを行う。

ズームビューアーを起動する

1. (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。
2. [OK]をクリックする。
   - 画面右下のタスクトレイにが表示されます。

ズームビューアーを使う

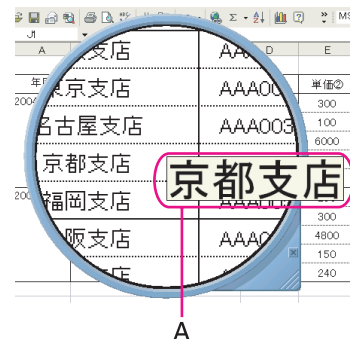
1. 画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。
2. Altを押したまま右クリックする。
   - カーソルを合わせた部分が拡大されます。
   - をダブルクリックするか、を右クリックし[表示する]をクリックしても拡大できます。

3 拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。

- 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、（非表示ボタン）（B）をクリックしてください。
  または、拡大表示ウィンドウの範囲外でクリックするか、 **Alt** を押したまま右クリックしてください。
- 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
  拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例： **Alt**を押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下のタスクトレイの を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
（上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1 **画面右下のタスクトレイのを右クリックする。**

2 **[設定]をクリックする。**

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき

① [マウス／タッチパッド]をクリックする。

② **Alt**、 **Ctrl**、 **Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl**+**Alt**）

③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。

- キーボードを使用するとき

① [キーボード]をクリックする。

② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。
（例：**Alt** + **Z**、 **Ctrl** + **Alt** + **Z**など）

[ウインドウデザイン]
拡大表示ウィンドウの形を選択します。

[起動]
ズームビューアーの自動起動と説明ウィンドウのオン／オフを切り替えることができます。

[デフォルト]
クリックすると工場出荷時の設定に戻ります。

3 **[OK]をクリックする。**

ハードウェアの自己診断機能

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、当社のご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでソフトウェアを診断することはできません。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

- CPU
- メモリー
- ハードディスク
- ビデオコントローラー
- サウンドコントローラー [*1]
- モデム [*2]
- LAN 機能
- 無線 LAN 機能 [*3]
- Bluetooth 機能 [*4]
- GPS[*5]
- USB
- IEEE 1394 機器
- PC カードコントローラー
- SD カードコントローラー
- ExpressCard コントローラー [*6]
- スマートカードコントローラー [*7]
- シリアルポート
- キーボード
- フラットパッド
- タッチパネル

[*1] Windows メニューで音声をオフにしている場合や、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。

[*2] モデム内蔵モデルのみ

[*3] 無線 LAN 内蔵モデルのみ

[*4] Bluetooth 内蔵モデルのみ

[*5] GPS 内蔵モデルのみ

[*6] エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ

[*7] スマートカードスロット内蔵モデルのみ

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作にはフラットパッドを使用することをお勧めします。フラットパッドを使わない場合は、内蔵キーボードをお使いください。

操作内容	フラットパッド操作	内蔵キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にカーソルを置く。	**Space** を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（☒(閉じる）は選択できません)。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません)。	アイコンの上で **Space** を押す。
PC-Diagnostics ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	☒(閉じる）をクリックする。	**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押す。

- フラットパッドが正常に動作しない場合は、 **Ctrl** + **Alt** + **Del** を押すか、電源スイッチを押して電源を切り、パソコンを再度起動してから PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティまたはその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。下記の方法のほかに、セットアップユーティリティの「終了」メニューの「診断ユーティリティ」から診断を実行する方法もあります（➔104 ページ）。

1　AC アダプターを接続する。
診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2　無線切り替えスイッチ（➔61ページ）の電源を入れる。

3　パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

4　F9 を押す。
確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。

5　F10 を押す。
確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。
パソコンが再起動します。

6　[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、画面下に「Please Wait」と表示されるまで Ctrl + F7 を押す。
PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。
- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- ハードウェアアイコンの左側のバー（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、フラットパッドと内蔵キーボードは使えません。

- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ : 診断を最初から実行する。
  - □ : 診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません）
  - i : ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、 Space を押すと元の画面に戻ります）

- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側に表示されるバー（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

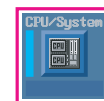
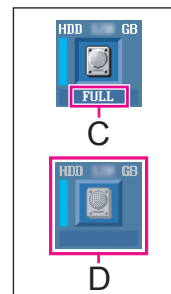
お知らせ

例：ハードディスク

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、メモリーやハードディスクの拡張診断を実行したりすることができます（拡張診断はメモリーとハードディスク専用に用意されています）。拡張診断は詳細な診断を行うため、実行が終了するまでにより多くの時間がかかります。

① ■をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
メモリーまたはハードディスクの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

③ ▷をクリックして診断を開始する。

7 すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。

バーの色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
バーの色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください（⇒『取扱説明書』「再インストールする」）。

お知らせ

- RAM モジュール（別売り）を増設してメモリーの診断を実行し、「Check Result TEST FAILED」が表示された場合は、増設した RAM モジュールを取り外し、診断を実行してください。再び「Check Result TEST FAILED」のメッセージが表示された場合は、内蔵 RAM モジュールに問題があると考えられます。

8 ☒（閉じる）をクリックするか、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押してパソコンを再起動する。

[Windows Complete PC バックアップと復元] および [システム回復オプション] を使うことで、パソコンが動作しなくなったときにハードディスク全体を復元することができます。下記の方法のほかに、セットアップユーティリティの「終了」メニューの「コンピュータの修復」から起動する方法もあります（➔104 ページ）。

データのバックアップ時または復元時にハードディスクに問題があると、正常にバックアップや復元をすることができません。また、予期せぬ誤動作／誤操作などにより、データの復元中にエラーが生じた場合、ハードディスク内のお客さまのデータ（復元前のデータ）が失われる場合がありますのでご注意ください。
本機能の使用により生じたお客さまの損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクをバックアップする

[Windows Complete PC バックアップと復元] 機能を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを自動または手動で行うことができます。
また [バックアップと復元センター] では、ファイルやフォルダー単位でもバックアップが行えます。
詳しい方法を確認するには、（スタート）- [コントロールパネル] - [バックアップの作成] をクリックしてください。

お知らせ

- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。

ハードディスクを復元する

お知らせ

- 以下の操作は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときや再インストール直後には行えません。一度Windows を起動／終了させると操作可能になります。
- AC アダプターを接続し、復元が完了するまで取り外さないでください。

1 **本機の電源を入れ、[Panasonic] 起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブート　オプション」画面が表示されたら指を離す。**

2 **↑ ↓ を使って[コンピュータの修復] を選び、Enter を押す。**
[システム回復オプション] が表示されます。

3 **キーボードレイアウトを選び、[次へ] をクリックする。**

4 **[ユーザー名] を選び、[パスワード] を入力してから、[OK] をクリックする。**

5 **[Windows Complete PC 復元] をクリックし、画面の指示に従って操作する。**

お知らせ

- **F8** を押しても[システム回復オプション] が表示されない場合は、Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってハードディスクを復元してください。
  ① パソコンの電源を切って、CD/DVD ドライブをUSBポートに接続する。
  ② パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 **F2** または **Del** を押す。
    - セットアップユーティリティが起動します。
    - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
  ③ 設定をメモしておき、**F9** を押す。
    - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。
  ④ **F10** を押す。
    - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。
    - セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
  ⑤ [Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 **F2** または **Del** を押す。
    - セットアップユーティリティが起動します。
    - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
  ⑥ WIndows Vista用プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。
  ⑦「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で「TEAC DV-W28EC」を選択する。
  ⑧ **Enter** を押す。
    - パソコンが再起動します。
  ⑨「選択してください」画面で[システム回復オプションを起動する] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
  ⑩ 画面の指示に従って操作する。

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お願い

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。

お知らせ

- ハードディスクのデータを消去しても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数はリセットされません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

準備

- すべての周辺機器を取り外す。
- AC アダプターを接続する。（操作が完了するまで取り外さないでください。）

1 **パソコンの電源を切って、CD/DVD ドライブをUSBポートに接続する。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **F9 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

4 **F10 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。
パソコンが起動します。

5 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

6 **CD/DVD ドライブにWindows Vista用プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットする。**

7 **「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で接続したCD/DVDドライブを選ぶ。**

8 **Enter を押す。**

パソコンが再起動します。
- 「パスワードを入力してください」が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

9 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。**

10 **確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。**

11 **[実行する] をクリックする。**

12 **再度 [実行する] をクリックする。**

13 **[はい] をクリックする。**

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

14 **終了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し[OK] をクリックして電源を切る。**

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スリープ機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[コンピュータをスリープ状態にする]と[次の時間が経過後休止状態にする]を[なし]に設定することをお勧めします。（➔18ページ）

Windows 関連ファイルについて

Windows Vista DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。
c:¥windows¥support¥migwiz、c:¥windows¥support¥tools

シリアル機器について

本機の COM ポートは下記のように割り当てられています。

- COM1：シリアルポート A
- COM2：シリアルポート B（将来の拡張用です）
- COM3：GPS（GPS 内蔵モデルのみ）

設定を変更すると、シリアル機器が正常に動作しないことがあります。

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2008 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> **キーを押すとセットアップを起動します。**	● エラー内容をメモした後、 F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。
RAM **モジュールエラーです。**	RAM モジュールが正しく取り付けられていなかったり、指定以外の RAM モジュールが取り付けられていたりすると、パソコンの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「RAM モジュールエラーです。」というメッセージが表示されます。 ● 電源スイッチを 4 秒間以上押し続けてパソコンの電源を切り、RAM モジュールの仕様が指定のものであることを確認し、正しく取り付け直してください。

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- パソコンの使用状態を確認するには（➔129 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ スリープ・休止状態機能

スリープまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スリープ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● モデム経由で通信している場合、パソコンがスリープ状態に入らないことがあります。 ● リジューム直後はスリープ・休止状態には入りません。約 1 分間お待ちください。
自動的にスリープまたは休止状態に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続している場合は、アクセスポイントの設定を実行してください（➔66 ページ）。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合、無線 LAN 機能の電源を切ってください（➔65 ページ）。 ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。
パソコンがリジュームしない。	● 電源スイッチを 4 秒以上スライドさせると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスリープ状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スリープ中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スリープまたは休止状態でも電力は消費されます。

■ ディスプレイ

Fn+F2 を押しても画面が明るくならない。	●「Concealed Mode 設定」の「LCD バックライト」が「オフ」になっている可能性があります。 Fn+F8 を押して Concealed Mode を解除してください。

■ ディスプレイ

ディスプレイに[電源オプション]画面が表示されるまで時間がかかる。	● 次の手順を実行し、省電力設定ユーティリティの設定により[パナソニックの電源管理のコピー]が 100 件以上作成されていないか確認してください。 ① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。 ② [追加のプランを表示します]をクリックする。 [パナソニックの電源管理のコピー]が 1 件以上表示されたときは、削除する電源プランを選んで[プラン設定の変更] - [このプランを削除]をクリックし、削除してください。

■ サウンド

音が聞こえない。	● **Fn**+**F4** または **Fn**+**F6** を押してミュートを解除してください。 ● **Fn**+**F8** を押して Concealed Mode を解除してください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● **Fn** とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。
Fn+**F5** または **Fn**+**F6** で音量を変更できない。	● Windows サウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。 ● **Fn**+**F8** を押して Concealed Mode を解除してください。
ログオン時（パソコンのリジューム時など）に音声がひずむ。	● 次の手順を実行し、サウンド設定を変更して音声出力を停止してください。 ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。 ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する]のチェックマークを外す。

■ キーボード

日本語が入力できない。	● **半角 / 全角**を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない。	● NumLK ランプ 1 の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。**NumLk** を押して解除してください。
大文字しか入力できない。	● Caps Lock ランプ A の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 **Shift**+**Caps Lock** を押して解除してください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。(スタート) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。

■ キーボード

タブレットモードでキーボードを使うことができない。	● Tablet PC 入力パネルを使ってください。（詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。）

■ 画面回転

ラップトップモードとタブレットモードを切り替えたとき、画面が自動的に回転しない。	● それぞれのモードの標準角度を正しく設定してください。（➔14 ページ） ● ユーザーの簡易切り替え機能でユーザーの切り替え処理が終わるまでは、モードを切り替えないでください。
画面を回転できない。	● 起動中のアプリケーションソフトをすべて閉じてください。 ● 無線切り替えユーティリティがインストールされていないと、タブレットモードで画面を 90°または 270°に回転できない場合があります。再インストールするときは(スタート）をクリックし、[検索の開始] に [c:¥util¥wswitch¥setup.exe] と入力して **Enter** を押してください。
フラットパッドやタッチパネルの操作と画面の回転角度が合わない。	● Windows を起動した直後は、操作と画面の回転角度は合いません。 ● 起動中のアプリケーションソフトを閉じ、操作と回転角度が合うまで回転ボタンを押してください。アプリケーションによっては操作と画面の回転角度は合いません。また、[画面のプロパティ]や Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile で画面設定を変更した場合も、操作と画面の回転角度は合いません。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「LAN」と「モデム」を「有効」に設定してください。（➔100 ページ）

■ ネットワーク

パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト]をクリックする。 ② [getmac/fo list /v]と入力し**Enter**を押す。 ● “fo”と“list”の間、“list”と“/v”の間にはそれぞれスペースを挿入してください。 ③ 無線 LAN の MAC アドレス 「Intel(R) WiFi Link 5100AGN」の[物理アドレス]と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 LAN の MAC アドレス： 「Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection」の[物理アドレス]と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 ④ [exit]と入力し**Enter**を押す。

■ 無線通信（無線 LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

ネットワークに接続できない。	● 無線切り替えスイッチをスライドし、無線機器をオンにしてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「無線LAN」、「Bluetooth」または「ワイヤレスWAN」を「有効」に設定してください。（➔101ページ） ● パソコンを再起動してください。 ● 画面回転ツールをアンインストールすると、無線 LAN をオンにすることができません。 再インストールするときは(スタート）をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥disprot¥setup.exe]と入力して**Enter**を押してください。

■ 無線通信（無線 LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。	● パソコンとアクセスポイントの距離を近づけて、再度検出してください。 ● 次の設定内容を確認してください。 ・セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「無線LAN」の設定状態 「無線LAN」が「有効」に設定されているか確認する。（➔101ページ） ・無線切り替えスイッチの状態 無線切り替えスイッチをオン側へスライドする。 ・無線切り替えユーティリティの状態 「無線LAN」が「オン」になっているか確認する。（➔63ページ） ● IEEE802.11b/g を使う場合、本機はチャンネル 1 ～ 13[*1] を使用して接続を行います。このチャンネルがアクセスポイントで使用されているかどうか確認してください。 [*1] 無線接続を行う場合、使用される周波数帯域をセグメントに分割し、各帯域セグメントを用いて別個の接続を行うことができます。「チャンネル」とは分割された個々の周波数帯域幅をいいます。

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。

■ 周辺機器を接続する

周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スリープ・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を再度初期化してください。 ● デバイスマネージャでが表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。） ● USB 機器が動作しない場合は、USB 機器を接続し直すか、別の USB ポートに接続してください。
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。 ● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。 それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔98 ページ）
USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● パナソニック製 USB フロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03U）（別売り）のみお使いいただけます。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブなどの USB コネクターを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポート にすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USBポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔101ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」に設定してください。（➔102 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。

■ 周辺機器を接続する

RAM モジュールが認識されない。	● RAM モジュールを正しく取り付けてください。 ● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください（➔47 ページ）。 ● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください（➔97 ページ）。RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 次の手順で確認することができます。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② [表示] - [リソース(種類別)]をクリックする。
シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。	● 接続を確認してください。 ● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ● 同時に、2 個のマウスを使わないでください。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔98 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「シリアルポート設定」サブメニューの「シリアルポートA」または「シリアルポートB」を「自動」に設定してください。（➔100ページ） ● 使用できる I/O と IRQ は、機器により異なります。動作しないときは、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、シリアルポート A の「I/O」と「IRQ」の設定を変更してみてください。
印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。 ● プリンターがネットワーク経由で接続されている場合には、ネットワークの接続を確認してください。

■ 周辺機器を接続する

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 PC カードを経由したデータ通信が正常に動作しない（IEEE1394 PC カードを使って DV カメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）。 < 無線 LAN 内蔵モデルのみ > 無線 LAN の接続が切断される。	● 次の設定をしてみてください。 （スタート）- [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックし、[高パフォーマンス]を選択してウィンドウを閉じる。

■ フラットパッド／タッチパネル

カーソルが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 を押し、→ を 3 回押し、↑ を押し、[再起動] を選択して **Enter** を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。（→128 ページ）
フラットパッドを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「有効」に設定してください。（→98 ページ） ● マウスのドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。
付属のスタイラスペンで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。（→11 ページ）
タッチパネルを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「タッチパネルモード」を「自動」または「タブレット」に設定してください。（→98 ページ）
Internet Explorer でフラットパッドのスクロール機能を使用できない。	● タッチパネルを使用してください。 ● マウスカーソルを Internet Explorer の外へ移動してから、あらためて内側へ戻してみてください。

■ PC カード／エクスプレスカード（エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ）

カードが使えない。	● カードは正しく挿入されていますか？ ● 規格に合ったカードをお使いください。 ● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「PCカードスロット」と「ExpressCardスロット」を「有効」に設定してください。（➔101ページ） ● ポートを正しく設定してください。 ● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。 ● カードを入れ直してください。（➔39 ページ） ● OS に対応したドライバーをお使いください。

■ SD メモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SDスロット」を「有効」に設定してください。（➔101ページ）

■ スマートカード（スマートカードスロット内蔵モデルのみ）

スマートカードが使えない。	● スマートカードを正しく挿入してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「スマートカード」を「有効」に設定してください。（➔101 ページ） ● スマートカードをお使いになる場合には、専用のソフトウェアをご用意ください。

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザーの簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • **Fn** とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • シリアルマウスが動作しない。 • < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ > 内蔵セキュリティチップ（TPM）の Personal Secure Drive が動作しない。 • < 無線 LAN 内蔵モデルのみ > 無線 LAN が使えない。 • <Bluetooth 内蔵モデルのみ > Bluetooth が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● **Ctrl**+**Shift**+**Esc** を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ **Alt**+**Tab** で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドしてパソコンの電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、（スタート）- [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]をクリックして、アプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は、万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。
- Guestアカウントでログオンした場合は、「未検出」と表示される項目があります。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存]をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、あらかじめ記録されているハードディスクドライブの管理情報などの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルで保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **Ctrl+Alt+F7 を押す。**

3 **メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**

[ドキュメント]フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で保存することもできます。
  (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [画面コピー]をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔51ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせはCtrl+Alt+F7になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。
  ② （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ③ [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ④ カーソルを[ショートカットキー]に動かし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK]をクリックする。
  ⑥「アクセス拒否」画面で[続行]をクリックし、「ユーザーアカウント制御」画面で[続行]をクリックする。

- Microsoft とそのロゴ、Windows 、Windows Vista、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core、Centrino は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- PS/2® は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

PCJ0258C_V